

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2016年3月27日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

いや、だから本業を持ちながらあのサブ業を育ててくってというのが一番楽なのは、勉強しないでできるのが株なんやて。だからそれを身につくと俺みたいになんか、本業がどこにあったかわかんいうようになってまって・・・これね、株で儲かったら、物を買っていくんやて、今度。ここらへんがね。だから玉見せて・・・例えばマンション買うやろ？そこで銀行が当然嘸んでくるから。借入れする。例えば3億円、4億円と借入れしてさ、で、銀行にはさ、金は返さん。金利だけ返しとくと。このシステムに変えると、物件買えるたびに金が溜まってくる。だからその金を今度株で運用したり・・・俺の場合は株やけど、株のほうが一番抵抗が少ないんやて、抵抗。水の抵抗とかさ、人を使うとかさ、そういうこと。

真田孔明：

契約書も何もいらないうすもんね。クリックで全部。

北野会長：

そやろ？

真田孔明：

不動産大変ですもんね。契約書だなんだって。

北野会長：

いやいやそれも大事なんやて。売買契約書作って、管理して登記してまた取得税払ってってこう回っていく・・・経済からみたら、株ってのは成功したら簡単やろ？孔明さんがたった・・・まゝ6ヶ月やったが7ヶ月間で1,000万程勝ち上がる。あれを桁を一つ彼が次の桁でやるとればあって一億やからね。結局33年と330年の江戸時代やったけ？そういう話とよくリンクした話が出てくるんやて。だから金ってのは本当にね、今度持つと今度は管理せんなんらん、これね。で金はね。結構暴れるから。持つと今度は暴れるから。なんか私じっとしたくないわって女みたいになってしまう。

真田孔明：

投資したいとか、車買いたいとか・・・

北野会長：

そうそう。でもね、派手にさえ・・・おれが思ってるのはじっと金をみて大事にしとけば、やっぱり金は金を呼ぶから・・・ね？それがおれ一番大事でないかなとおれ自身そう思っとるんやて。だからその無駄遣いせんとさ、質素にちびちびと・・・で、ちびちびと言って、このね、ちっちゃいこのちびちびの言語がね脳の中に入ると、すごいね派手なことしないでいいやろ？で、金ってのはあんた脳科学者じゃないけど、ちびちび増えてくるもんやとこういう具合に思えば、やっぱいいんでないかね？教育師やもんね。〇〇も教育者？いやだからこういう部門をやってる人ってのはみんな落ち着いとってさ、安定収入があるってのはこう感じがでとるんだかいね。そやろ？そんなほ、上がったたり下がったりとかあんましとらんだかいね、経済が。ほとんど池みたいなもんやね。水からいうと池でさ、ま、風吹いたときにこれぐらいのねサツチェル、妙義があっても。あの子一人辞めたい程度ぐらいしか身動きがないんやてね。そういう商売ってのはやっぱ安定しとる。うちらみたいに、うちはデイサービスとか老人の施設とかやってるけど、ああいうのも安定しとるんやて。んな減っていく心配もそうないし、あとは薬やから。本業は薬やから。患者はほっといても絶対年々増えるんやて。薬飲む人がたくさん増えていくんやから。

真田孔明：

保険だからみんな使わなきゃって感じですよ。

北野会長：

もうね、そこらの収益よりも、やっぱ株の方が玉さえ溜まれば楽なんやて。

メンバー：

税金が少しで済むっていうのは大きいです。

北野会長：

そう。だから税金が20%で済むっていうことと、この資産を持ってパーンと擦れ合うところさえ作ることができれば、今度ね、資産のところへ金を引っ張るときに今度借入金を作っていくがやてね。決算のときの借入金を発生させる・・・ね？これと一緒になんやて。孔明さんからこのビルに対して融資をもらったと。で、これは借金やろがわいよ。孔明さんへの借金や。で銀行に「孔明さんに返すために融資してくれ」と、これ一つは冷静になるんやてね。こういう具合に今度は玉引きを、今度自分がやってる本業からB社いうのを作ってこういうことやっていくんがやて。そうすると金ってのはまたちゃんと・・・ね。孔明さんはジョホールバルの人やと。じゃジョホールバルでも香港におっても関係ねえやそんなもんね。適当に書いとけば相手調べようがないんやから。だからそういうこの裏付けをどう取って前へ進むか。で、悪いことしたらねやっぱひっかかるよ。金がどんどんでかくなると危険なんやて。ちっちゃいときはね、全然大丈夫。みんなね三年や五年ね、何をしとっても大したことない。派手に儲かり始めたときには大体足をパーンとやられることが多い・・・そやろ？

真田孔明：

もう詐欺案件にバンバンいれてたのもそういうときですね。左から入ってきたのを右に・・・
そんな感じですね。

北野会長：

うん。だから足ってのはそういうときにすぐわれるんやて。だからあとはこう、ね。信用のできる友達を何人もってるかっていうこと。やっぱね、信用が本当は力なんやてね。金は力じゃないんやて、本当の力は信用なんやて、信用の上にその人がなりたつとる。だから詐欺で引っ張ったやつは、だいたいね次の詐欺に食われる。だいた世の中なぜかうまいことなってるもんでね、それかどっか訳のわからん女に引っ張られてね、あらっというやつにやられてしまうと。初めて成功するとやっぱり脇が甘くなるんやて、やっぱここが。で姉ちゃんもまあ大丈夫やみたいなことと思って、パスワードを取られとったりさ、銭取られとったりいっぱいするんやて。

真田孔明：

昨日みたいなクラブいっても、なんか金を持てると多分どの女も俺のものにできるみたいに思い出したら・・・

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

あのママさんみたいなのに食われちゃうんですね。ママさんみたいなのに。

サッチェル：

あのママさんすごかったよ。

真田孔明：

きれいでね。あれ危ないよね。顔見たら吸い取られると思って顔見なかったもん。

サッチェル：

声も低いし・・・

真田孔明：

あれやばいよ、あれ。迫力のある声は。

北野会長：

そうそう。さらっとなんぼやったけ？「5万円か？」いうたら・・・7万円って言わんだけ？ああいうのいっぱいおるんだから、世の中ってのは。

真田孔明：

ママが待ち構えてる。

北野会長：

だから女寄ってくるようになったら気をつけんといかん。女は魔物。まあそういう具合に近づいてきたらね、軽蔑せんでもいいけども、やっぱ絶対気をつけとかにゃ。ちょっと・・・ほんと女っちゃあちょっと脇開けたらすって手入れてくるからね。この早さはねやっぱ女独特なものやよ。技やから。あっこであれ一本「うん」いうたら、それこそ宴席は2時間やっとする。そういうことはやっぱちゃんと心得とる。

真田孔明：

あれ、パツとメニュー表見たら最初の一時間5000円だけど、次の一時間17,000円って書いてありましたね。

北野会長：

あ、本当？

真田孔明：

あれ、だからお得なお試しの5,000円なんですよ、あれは完全に。

北野会長：

そうそう。だから餌やで。

真田孔明：

餌ですね。

サツチェル：

次も5,000円だって思っていたらお会計の時に「あ！」って。

真田孔明：

あのママさんも引っ張れるかなあって頃合いを見てくるわけですね。で、これは脈がないって思ったら、もう会長がスパンスパーンってかわしていくから・・・攻撃を。そうするとヒュッていなくなっちゃうんですね。

北野会長：

みんなねああいうのや。久しぶりに昔行っとった銀座の看板見ただけで興奮したわ。

真田孔明：

あー。よくでも会長あんなだけのお店を行かれててそういうのに引っ掛からなかったですね。

北野会長：

いや、先輩は引っかかったんやて。ほっで、そのやっぱ「前車の覆るは後車の戒め」やから。おれは常に慌てんタイプやから後ろにおるんやて。

真田孔明：

あ、まずは先輩の様子を見てたわけですね。どうなるのかを。

北野会長：

そう。そうすると大体先輩は食われてしもうんやて。

真田孔明：

会長その時には結構掴んでるわけじゃないですか。その掴んでるお金を持っててああいうところに行って、そういう気持ちが沸き起こないっていうのがすごい不思議ですね。

北野会長：

行ってたのはやっぱ政治家の先生と行ってたもんで、おれがあんまり派手に前に出るつつうのは・・・（メンバーを見つけて）あ、ご苦労様です！その大きなマスクは何ね？

メンバー：

その、花粉症で・・・

北野会長：

花粉症？あ、あんたたちもなんか・・・

真田孔明：

はい。飲み物。

北野会長：

みんな集まるまでビールでも飲んで。

真田孔明：

単品の飲み物。

北野会長：

あら。こっでもう一気にきたから、ええんやね？もう。

真田孔明：

そうですね。

北野会長：

（メンバーに）おいっす。

メンバー：

お疲れ様です。

北野会長：

あ、どうもどうも。

真田孔明：

じゃあ会長の隣で。

メンバー：

恐縮です。

北野会長：

いやいや、そう言わなくて・・・

メンバー：

おしゃれなシャツで。

北野会長：

逃げたかったらいつでも言うてください。

メンバー：

いやいやいや！

北野会長：

逃げる時は現金もたせますから・・・いやいや本当です。もう先にやっとります。

真田孔明：

もう全員揃った？あと誰がいんだっけな。あと一人？

北野会長：

今日のあの画面なかなか・・・赤と青と。おれ出てくる時にパッと見たら、孔明の画面みて赤と青と緑の画面じゃなかった？あの・・・

メンバー：

あーそうですね。

北野会長：

うん。あんな初めて見たね。

メンバー：

私も見方はわからないんですけども・・・

真田孔明：

あ、あれで念で当ててくんですよ、いろんな動きを。

北野会長：

あ！なんか当てゲームけ、あれ。

真田孔明：

当てゲームです。何年に何したかみたいなの。

北野会長：

あー、いやおれまたそのAirbnbかなんかのデータかなあと思って・・・違うの？

メンバー：

あれはそうですね、孔明さんに状況をみてもらってます。

北野会長：

あー。孔明さんと会うとねみんな金儲かるようになるんやて。いやいや本当に。みんな儲かって余るようになるまで儲けてね。

真田孔明：

ネット系の人たちはみんなすごいですよね、最初の頃に・・・サラリーマンだった頃の。

北野会長：

まあバンバン儲けて。

真田孔明：

で、最初の方は謙虚だったのがみんなあの儲けたあとで会うとなんかもう上から目線になって・・・それ何度も経験してるんで。なんども（笑）

北野会長：

いやだから人間は変わるんやから。金掴んだり「人生ここですよ」って孔明さんに言われてばーんと前にでた瞬間にさ、ね、地球つかむ人もおるから。いやいや本当そんなんあるよ。

真田孔明：

うん。〇〇君とかも2005年の時はイガ栗頭のサラリーマンだったんですね。でも2010年に再び会いに来てくれた時に広州に、もう芸能人の彼女連れてこんな感じで・・・（笑）

北野会長：

（笑）これぐらい軽くなるんやから。なんか言わないと。

真田孔明：

じゃあスタートしますかね。

サッチェル：

フリードリンクです。

真田孔明：

ここ3時間ですね。

北野会長：

みんな老眼鏡いるんでない？

メンバー：

います。

北野会長：

まだ大丈夫やろ？老眼鏡は50ぐらいから始まってくるもんでない？でもまだ株はやってないんやろ？

メンバー：

そうですね。株はまだ・・・

北野会長：

おー。「まだ全部聞いてないからやらない」っていったらだいぶかかるよ、あんた。

メンバー：

一応見てはいるんですけど・・・どのタイミングで買うかなみたいなのは見て考えたりはしてるんですけど・・・

北野会長：

あー、結構な慎重派なんやね。

メンバー：

その辺りは動かないといけないと思うんですけども。

北野会長：

うーんいやいや。まあ株も大事やけどもやっぱ銭儲けが一番大事やから。いやいやほんま。銭儲けが一番大事。銭儲けができるから株もちびちびとこうやっていけば、やっぱ銭は儲けてった方が絶対いいよ。銭儲けると信用ができるから。株で儲けても信用は成り立たんやね。こういう具合に覚えとって。でもどちらが楽かという、やっぱボタンを押した方が楽なんや。人を管理したり使ったりするよりも、やっぱボタンの方が確率・・・確率っていうかね、儲かるようになると本業はそっちの方にな変わっていくね。ま、ゆっくりみなさんもそういう世界へ。ま、商売の方・・・お互いに商売の形は違うからそこでやっぱ一番おれが年いってるから、おれの知ってることは全てこう教えてあげる。みなさんが儲ければそれでいいんやから。ま、だからとりあえず目標をさ、株で1000万とかさ株で1億とかさ、どのラインがいいんかはわからんけど、やっぱここにラインは自分で設定してまずチャレンジしてけばいいんじゃないの。だいたいこの話聞いて。売りにまた売りをかけるとかさ。こう要はみんなもうほとんど大局的にわかつとる。大局的にはわかつたけど、現実はなかなかできないのが現実やよね。そうでしょ？だからみんなお参りでもしてさ、線香で焚いてさ、ね。本当は身につけたら結構方が回るようになったりさ、逆に落ち込んだり、これが喜怒哀楽でやっぱいいんやて。こういう上がり下がりってのは。だから儲かったお金は大事にして、いかに金ってのは離すと付いてこなくなる。女でも、今ちょろちょろと後ろについてきとる女でも金パーンと止めてみい。後ろ見たら誰もおらんて。これが女の・・・金も一緒。

真田孔明：

後ろに見えたらしい（笑）

北野会長：

案外そういうもんなんやて。女はね嗅覚でこの男の「今伸びとるな」っていうのはみえるんや、女は。だからパツと彼の後ろに付くがやて。この男ね、財布から金ださんでもなくなったらすぐ女は匂いでわかるんやて。「こんなへたってきた男はいらん」みたいな。ばーんてきる。いや本当やよ。やっぱ女王蜂がね嗅覚が鋭いわけよ。だから女が近寄ってきた時はだいたい絶好調に向かってるわけや。いや本当よ。女が寄ってきたら「おれやっぱ調子がいい、いいの女っちゃわかるんやな」と思って、後ろに来た人を思っとれば間違いない。調子が悪くなったら後ろみたら誰もいないから。

サッチェル：

なるほど

北野会長：

いやほんとそれがほとんど人生みんな同じよ。だからそういう具合に記憶を入れといてください。

サッチェル：

なんか最近モテるなあっていう時は絶好調っていいことですか。

北野会長：

そうそう。肩も軽かったりさ、最近なんか他の女も電話かかってくるようになって思ってる時は絶好調なんやて。

真田孔明：

でも一番飛ばす時でもあるんですよね？

北野会長：

そうそう。

サッチェル：

今まであんまり連絡先とか聞かれなかったんですけど、昨日とか聞かれましたね。向こうから。

北野会長：

だから金回りいいんやて。

真田孔明：

あ、見えたんですね。

北野会長：

女は金の匂いを察知するゆうて。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

女はどこで察知するんか・・・やっぱ男の笑顔なんかね。

サッチェル：

あ、言ってました・・・昨日の子も。

北野会長：

そやる？

サッチェル：

「いつも笑ってますね」って。

北野会長：

これね、ニコニコしだすとだいたい女がよってくるんやて。

真田孔明：

あ、確かに。小難しい顔がニコニコ顔になってますね（笑）ずーっと口元がね、今日会ったときから笑顔なんですよ。さっきも会ってたんですけど。

北野会長：

いやおれジョホールバルまで、失礼やけど一回も喋らんやろ？いや、これはどっかのスパイが入ってきてるんでないかと。

真田孔明：

国の（笑）

サッチェル：

公安とかね（笑）

北野会長：

いやいやほんとそれくらい・・・今日はほ、目が結構もっけどなんか目こんな感じでさ、物言わないやろ？ちょっと危ない人でないかなと思ってさ。

真田孔明：

前なんの部隊にいたんでしたっけ？

メンバー：

いろいろいましたよ。一番長いのは〇〇〇〇。

北野会長：

おー。なんかやばいタイプじゃなからうね。

サッチェル：

（笑）

真田孔明：

会長、何飲まれますか？

北野会長：

あ、おれはもうワイン。

真田孔明：

白ワインでいいですか？

北野会長：

うん、白ワインで。最近ビールの消費がよくてね。健康のためにビールを飲んで。

メンバー：

健康のためだし・・・（メンバーに）食べ過ぎやよ。全部食べとったら死ぬぞ、あっという間に。

メンバー：

（笑）

北野会長：

お前何車椅子くらいで、痛風たらそんなこと。お前だいたいね酒飲まんと甘いものなんて一番悪いんやから。いや、おれは薬屋だからいうんでないけども、ウイルスも菌も全部糖分にくっつくがやて。だから結構ね風邪ひきも結構すると思うんやて。風邪も引くやろ？

メンバー：

今は引かなくなったかな・・・

北野会長：

おれもねだから48ぐらいから酒飲み始めてから、酒ばっかし飲んどらんがに、ほんと。朝・昼・晩酒飲んどるみたいな男やから。ご飯はお椀にこれくらい。それくらいやて。もともと人間はさ、みんな知っとると思うけど米なんて食べとった生物やねえんやから・・・そやる？葉っぱとお肉さんと食べとったんや。だから米ができるようになってから、家を持って女を愛するスタイルに変わったわけよ・・・わかった？だからやっぱ糖分を・・・糖分はだから生きるためには必要なんやて。だからそれをあんたみたいにだー、だーとあんな料理全部食べとったら体おかしくならんだらおかしいわ。お前今に100キロなるぞこれ。お前顔色もだんだん・・・こう顔が、顔つきが良くなったけど、だんだん丸くなってきとるよ。今何キロあるのよ？

メンバー：

今74・・・

北野会長：

そんな少ないの？本当？おれもっとあるんじゃないかと思ったけど。今結構、孔明今110キロから・・・

真田孔明：

今83ぐらいですね。

北野会長：

おー。

サツチェル：

83。増えたね。

真田孔明：

増えた。

北野会長：

最近生活楽なんやて。

真田孔明：

いやいや（笑）

北野会長：

やっぱ生活の上下でやっぱ決まるんでね？うちのその整形の先生は糖尿病なんて昔はなかったんやと。自分が医者になった時は糖尿病はなかったと。それぐらい食生活が貧しかったからやと。理論が理路整然や。理論が合ってればやっぱ物事は合っていくんやて、だから辻褄の合うような人生をなるべく作りましょう。儲からん人にはあんまり関係ない話。辻褄は。金をつかんでから初めて・・・あの一番向こうの彼もずーっと下ばっか見とっけど何しとる人やったけ？これで3度ぐらい会ったよね。何やってるの、仕事？

メンバー：

私は翻訳会社です。

北野会長：

翻訳？なんの翻訳やってるの？本の？

メンバー：

書類とかですね。

北野会長：

ほー、書類。

サッチェル：

あの海外との契約書とかですよ？

メンバー：

そうです。

サッチェル：

のプロフェッショナルです。

北野会長：

あー本当？

サッチェル：

専門分野だそうで。

真田孔明：

あ、じゃあ揃ったんで。

北野会長：

あー、今日もご苦労様でした。

メンバー一同：

お疲れ様です！（乾杯）

北野会長：

海外のっていうことは英語とか中国語とか・・・

メンバー：

英語です。

北野会長：

あー英語の方？ほー。

サッチェル：

大企業が使うような翻訳のプロフェッショナルですよ。

北野会長：

ほー。

サッチェル：

一部上場企業とも取引してるんで、融資も引きやすいですよ。実績的に上場企業は。

真田孔明：

すごいですね。

北野会長：

まさか金庫を買ってお金万札だけ入れとるっていうタイプなの？

メンバー：

金庫？

北野会長：

金庫を買ってお金だけほ、銀行には入れない。おれは金庫派だーって。

真田孔明：

現金で受け取っておいてあるんですか？っていう。

メンバー：

あー、金庫はないんですけど。証券ぐらいしか・・・

サッチェル：

証券ぐらいしか（笑）

北野会長：

証券。

サッチェル：

東京ってことですよね。東京案件・・・

メンバー：

東京？

サッチェル：

え？東京案件に入ってるってことですよね？

メンバー：

そうです。

北野会長：

ふーん。東京案件とブラジルリアルは連動してるから。でも今日もなんか見てたけど、全体の投信が今年悪いみたいやね。全部の投信がこう、これはなんのせいかな？おれも全然わからないんやけど。電話してもあんましいい返事返って来んね。ここずっと投信に玉入れてきて初めてやね。投信がこんなに悪いっていうのは。悪いっていうことはど底打っとるんやから、28円から今30円やけど、ま昨日も言ってたけど、まあ最低35〜6円から40円・・・オリンピックの開催っていうことも考えると、こうやっていうとった本当50円ぐらいまで上がったら大変やけどね。これ50円で反目打ったらでかいよ。

真田孔明：

で、みんな50円で買い始めるみたいな・・・（笑）

サッチェル：

世の中の人ハね（笑）

北野会長：

いや世の中ってのは上がったらそういうことなるんやて。だからどっちがいいがかね。

サッチェル：

昨日会長がお話してたんだけど、株で僕らピンとくと思うんですけど、自分が下がってる時に怖くて買えないじゃないですか。今日は買えないっていう日に売れと、売りをかけると。

北野会長：

これ空売りってのは、あの昨日も言ってたんやけど、持ってる株を一回売るやろ？手仕舞いして。その一緒な・・・例えばみなさん得意なTね。Tを売るやろ？そのTをもう一回空売りせんにはあかんがやよ。だからこれってのは小埋めやからっていうことでバツサリ切らんと価値がないわけよ。だから必ずここで手仕舞いして、800円で一万株持ってたなら800万自分の手元に現金がくるやろうが。だからここでは一んと勝負してさ、例えば高へ200円持って行かれてもあんた800万の現金の中から負けた200万円を払えばいいんで。わかった？ここで腹を決めるっていうところが難しいわけや。

サッチェル：

その時今までだったら会長は下げがわかるけど、僕らわかんないじゃないですか。で昨日会長言ってたのが「お前が買えない時が売り時なんだ」って。怖くて怖くて買えない時に空売りかけろって、それすっごいピンときた、確かに、あの一月の下げ・・・

メンバー：

あれ見てられたっけなあ・・・

北野会長：

（笑）見てませんとかって。

メンバー：

いやいや、これはいつ回復するのかなぁみたいに・・・

サッチェル：

どんどんどんどん行っちゃって、震えるしかないよねって時に、一回持ってる玉を全部損切りして、玉作って同じ銘柄に全額・・・全額かわかんないけど、空売りをかけると。トータルで勝てるってことですよね。

北野会長：

そうそう。気持ちが・・・例えば買った人がなんか買いにくいし、変な話がたくさん出てくるって、なんか心の中にそんな不安が出来た時ってのは一人だけが不安じゃねえんやて。日本の新聞見てる人全部が不安なんや。でそこへ、海外勢がドカーンて原子爆弾落とすわけ。売りをかけてくるが。先物で。今はみなさん素人やから、先物はまだやらんといてほしんやて。先物ってのはやっぱ危険やから。ほとんどはね、あの、みなさん地図・・・地図じゃないグラフ見取れば、一番商いの多い日はドカーンと日が一番商いが多いんや。これさえわかっとればみんな先物の指数見とるやろ？で、先物の指数が夜寝る時でもパッと見れば、先物の指数がどんどん売りかかってくるんやて。この一日前かそれさえ見えればもう勝ちなんやて、本当は。

真田孔明：

朝一から売りをかけて。

北野会長：

そうそう。だからその前の日、そのちょっと前に気づくということが大事なんやて。

真田孔明：

あー、前日の相場が終わる瞬間に・・・

サッチェル：

そういうの僕らできない・・・（笑）

北野会長：

だから今日の一番のテーマはそういうものをどうやったらみなさんが見えるようになるかってのがテーマであって。おれはさ、なんか難しいあの野線がどうやら全然わからないしおれ自身もそういうことで株って見たことないんやて。いつもみなさんに言っとるこの勘だけで人生を生きとる男やから。でもね、なぜかよくそういうのがわかるんやて。よくなんでわかるんかなって言ったら、今のこの油が\$100が\$50になってまだ下がってみたいな話。日本がアベノミクスがうまくいってないんでないか？このバズーカ砲がでないって言う話。ね？原油は下がる、円高にまた戻ってきとるとかさ。中国の減速とかさ、こういう話があの時分に出てたやろ？あれは、でもねみなさんはあれ信用しとるけどあんなもん全部嘘。あんなもんね、絵に描いた餅やて。じゃああの下がり相場でどっかの会社潰れた？そんな一つもねえ。みんなね、絵書いとるだけ。

真田孔明：

たった数ヶ月間でそんな世の中の状況が変わるわけないですもんね。特に原油額は。淡々と出てるやつが。

北野会長：

みんなそんなんやよ、いつも。リーマンショックでリーマンが66兆円飛ばしたってあれも本当か嘘かね・・・わからんよ？絶対に。おれは信用すべき点はそんなにないような気がする。

真田孔明：

リマンブラザーズのオーナーどっかの国から空売りかけてたりして。

北野会長：

うーん。いやだからこの前も言ってた、昨日もでてたけど・・・

サッチェル：

Microsoft。

北野会長：

そう。Microsoftのビルゲイツが一番ね、あれ全財産を空売りで作ったんや。なんとMicrosoftの会社の株を空売りして作ったんやぞ。だからあれは・・・パーフェクトやったけ？パーフェクトやったけ？

サッチェル：

バフェットです。

北野会長：

あれでさえかなわんての。あれだけの企業をもってさ、自分の友達に言うてさ大金持ちにさ「僕売りますから皆さんどうですか？」いうてみんなに話してみい。そんなどどこ株下げるやる？で、ドーンと都下につくやろうよ？ね？これでまた20人の大金持ちにさ、じゃあ行きましようかいってどーんて買い上がっていくわけや。これの連続なんやで？いや、世の中ってのはみんなね、騙される。

真田孔明：

それでバフェットはこういう時に買った株を長期保有しましょうって本に書いてるんですよね？

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

ど底で買ったやつを（笑）

北野会長：

違うんやて。あれはバフェットもほとんど売りで金を掴んどる。あのね、この「買い」でね、本当に金ってのはそんなにたまらないんやて。買いつてのは・・ね。買いの100切ってさ、売りの一撃でこうバッカーンと落とされるんやから。だから孔明さんみたいに「空から見てました」こういう人が一番クール。だからこの会は死なないっちゃう、冷静な会や。

サッチェル：

買えないなっていうのはわかりますもんね。下がり、嫌だって。買いたくないなっていうのが。

北野会長：

ああそういう時が売りに行く時。まずだからネットでもなんでもいいからさ、情報を脳の中に入れてさ、一番利益があるのはFRBのおばちゃんがいうのと、中国の方ね。あと日本の0.1%のマイナス金利とかさ。あれもね、おれじわじわと効いてくと思うんやて。皆さん、おそらく銀行のことをあんまり関係ないと思っとるけど、銀行はマイナス金利によってさ、今まで日銀にさ集めた銭、こう日銀に飛ばしとるだけで金儲かったんや。今度マイナスっちゃあ払わんといかんやろ？だから銀行は当然今日も発表した。社債やらなんかどんどん発行して、玉集めに出るわけさ。で、もっとえげつなく考えると、これお前、目一杯国民から社債やらさ自分ところの銀行のもの発行してやよ？国民が持ってるお金どんどん吸い込んで、そこでドンやれば国民に対する借金はどう棒引きやぞ？いや、今度円を、「円はまずい」と。1円は1万にしましょうと。100億にして何兆円の単価にしましょうって、こういう具合の経済を作れば、日本なんてそんなもんね、この前の戦争に負けた時にもうやってしまとるんやから。1000倍のインフレをね。

真田孔明：

昭和24年にやってますよね。

北野会長：

そうそう。あの、我々は日本国民やから、昨日も言っていたプルトニウム、とうとうアメリカへ一部を引き渡すっていったやろ？（メンバーに）そんな契約書を書いてるんじゃないの？プルトニウムの（笑）

メンバー：

そこまでは（笑）

北野会長：

だから結局そこなわけさ。日本がとうとうプルトニウムをアメリカにね、廃棄処分で出すと。だからアメリカは「ああやっとうちの言い分聞いてくれたんや」って言うのはアメリカの言い分やろ。あれ全部精製してさ、原子爆弾作る能力なんて日本一番あるんやから。これを渡す以上に在庫はもっと持つとるようなきがするけどね、日本は。まあこのバカな頭で考えると。でも金貯まったらさ、やっぱ伸びる国はどこやと思う？

メンバー：

中国・・・

北野会長：

うん。やっぱでもね、日本よりもトップに位置するのはやっぱアメリカなんやて。で、次に日本を置き去りにしてやっぱ中国がやっぱ伸びると思うんやて。昨日もその何度も言ったんやけど、日本は2%ですら伸びんがやね。中国は下がった下がったいうても・・・皆さんは新聞からそうみとるんやて。でも下がった下がったいうて6.5～7%やて。あの頭数でさ、この成長率というのはでかいよ。あと中国の恩恵を被とるそこらがどう伸びるか。俺はだから買い付けとしてはミャンマーのあれが一番のいい材料でないかなあと思って探しまくったんやけど買えなかったね。

真田孔明：

ミャンマーの株ですか？

北野会長：

株。おれあんたに言わなかったけ？

真田孔明：

サイゴン・・・

北野会長：

そうそう。あれ知ってる？バイエスエックスいうたっけ？市場の名前を。

真田孔明：

香港だと買えなかったですよ。

北野会長：

そう。あ、そうかそういうの流したよね。

真田孔明：

あれ、じゃあ現地で作らないと買えないんですかね？

北野会長：

現地法人なら買えるかね？いや、1ドルで、1ドルが700チャットなんやてね・・・昔は。今それが1300チャットもらえる。要はあの国がまあいち早く復帰する速さが早いんでないかなと思うんやて。どう思う？

真田孔明：

今二分の一ぐらいに暴落しちゃってるわけでもんね。通貨が。

北野会長：

通貨が半分になったからって潰れた国もあんまなかなかねえんやから。ブラジルが通貨が安くなったって思うやろ？じゃああの通貨がなんかあってさ、飛んでイスタンブールになったからってあの国は一緒やよ。地図から見たらブラジルはブラジルなんやて・・・わかる？おれが言いたいことが。地面も減らないし何も変わらないんやて、現状は。ね。ただ通貨っていう話が壊れるだけで、あんなん何も変わらんよ、あんなもん。前にも確かブラジルがやっとなるやろ？まあ一発当てようとしたらやっぱミャンマーのチャットか、おれはブラジルのリアルでねえかなと。買って得するならやよ。だからドル円みたいなもんやね。80円で取るか120円で売るかっていうのと同じところやからね。だからやっぱ一番大きいのはね、為替も大きいんやて。為替っちゃあでかいんやて。だから金をたくさん持ったら、下がった通貨は買っていくと。こういうのもいいよ。だからフィリピンばっか見とるがやいよ。通貨があれ・・・あれどこやったけペソやったけ？ペソやろ？タイ行ってない人も多いから、タイの通貨はね、下がった時2.5やったがね。だから1万円出すと4000バーツ。だから僕は必自然的にそういう企業努力しとるんやて。これ遊んで歩いとるんやねえ、通貨を確認をと・・・（笑）通貨の確認。わかった？

真田孔明：

すみませーん（店員に）

北野会長：

この前もこのなんかを食べたよね。

サッチェル：

食べました。

北野会長：

これだけやったっけ？

サッチェル：

いやいやこの後でできて・・・

北野会長：

出てくるの？

サッチェル：

はい。

北野会長：

酒ばかり飲んでるからさ。

真田孔明：

店員さんあの方しかいないのかな。飲み放題だけど店員さんが来ないから注文ができない。視界からいないっていう。（笑）一人しかいない・・・注文とってるし。

北野会長：

注文とってれば仕方ねえやろ。焦って見たって。（メンバーに）何をやってるの？実業家け？

メンバー：

いや、物販・・・

北野会長：

ああ物販。ふーん。何系やってるの？

メンバー：

中古カメラを・・・

北野会長：

ああカメラ？カメラって他にいなかった？カメラ今日来てるの？

メンバー：

そうです。

北野会長：

カメラやったよね？なんかこの人もカメラで、あんまり儲かってないらしんやけど・・・

メンバー：

いやいやそんなことはない・・・（笑）

北野会長：

月1500万ぐらいしか儲かってないんやけど、無駄にしか儲かったらんやから、また怖い人な。やっぱね、1000万・・・ね。そこらへんなんやて。だから金額によって人の心は変わるんやね。これね100万儲かってる時は大したことないなあ、もっと儲けんな。1000万ぐらいになると今度は心がさ、税金のことも考えんならん、他の女の子ともって・・・モテてくるからいろんなこと考えんならんやて。

真田孔明：

悩みが増えてくる（笑）

北野会長：

だから金ってのは逆に言うと、悩みを増やす元っちゅうことやて。味の素じゃないけど本当そうやよ。

サッチェル：

（店員に）ワイングラスください。

北野会長：

みんなほとんど何も飲んでない・・・いつも飲んでないの？酒は。あんま酒飲んでないんやね？今日初めて見えたわ・・・前が。酒飲んでるのいつも俺だけか？

メンバー：

いやあそんなことはないですよ。

北野会長：

本当？女の言葉はこうやって嘘をつくからね。今見たら誰も飲んでないがね。俺もうワイン3杯めほどでさっきビールも飲んだね。

サッチェル：

ああ確かに1杯しか飲んでないですね、他の方は。

北野会長：

そう？ただの無駄遣いやない。これ飲み放題？

真田孔明：

飲み放題ですからね（笑）

北野会長：

これね、何が無駄かってね、「ムリ・ムダ・ムラ」ゆうてあんだけ書いてあっても・・・パンパン飲めよ。飲んで正直に物を言えば心がパッと晴れるかもしれんやろ。

真田孔明：

最近の人は全然飲まないから飲み放題って全然割に合っちゃうんじゃないですか？ぜんぜん。

北野会長：

あ、そうかもしれんね。

真田孔明：

昭和の時代だったらこんなのぜんぜん割にあわないですよ（笑）わーつって。ワインワインって。

北野会長：

そうか。俺だけが飲んどる。昨日もなんかね、おれだけが酔っぱらったような気がするんやけど、あれからまたクラブ活動しとったら本当になんかね。でもまあメンバーが一人ずつ勝ち上がってさ、もっとかねが儲かるようになれば、もっと次元の違う話がおれできていくような気がする。あそこに翻訳の先生も一人おるゆうんやから。弁護士の先生よりもやっぱり役に立つかもしれんし、海外を知っとるっちゅう。

サッチェル：

そうですね。プロフェッショナル・・・

北野会長：

すごいもんや。まああんたみたいに一言も喋らんだって言う人もおとろしかった。おれの方さっき見とったけど、お前ずーっときとったけどしゃべらんやん。目もさ、てんでどこ見とるかわからんいうか「不審な人やな」と思って。ジョホールバルで話聞いたら「そんな悪い人でもないな」って、あん時に本当そう思ったわ。あれまでね一番ね不審者はあんたやと思っとった。

真田孔明：

出身の場所も（笑）

北野会長：

そうそう。いややっぱだからどこまで見上げていくかやてね。だから、まあおれはさ、前の言ってた、みんなが時計の針ぐらいの秒針でなくて一時間二時間12個ぐらい会社をもって動かせるものを作っとけば、これでかいよ。力のテコの原理としては。だからどう利用するかは各々が考えればいいことで。一緒やよ？幼稚園やってる。ジョホールバルにいる。フィリピンで会社作る。ものを動かす。一緒なんやて。こんなもんだ地球儀にただ点だけつけとればできることやから。点の一番楽なのは個人じゃねえ。会社なんやて。会社ってのは人格が会社に与えられたものであって、自分のもんじゃないやろ？だからあの会社飛ばす時には、自分じゃなくて、自分の知り合いが代表者になってもらう。その時に会社が飛ぶ。わかった？〇〇さんが飛んでイスタンブールはいかん。お前自身が。これ信用ってのがなくなるから。そういう時は他人のところでさよなら〜。海に落ちる時は人間かマネキンかなんかわからんがやて、ここが一番大事。別に人間が落ちなくてもマネキンに重り担がしてドボーンで落ちたら〇〇さんが海に落ちて死んだと。こっでええわけよ。あんな自分が入る必要ない。あったかくてもひどいよ。だからそういうことが経済で、こう要になる。だから儲かったら会社を作る。あとは友人に頼んで今おれが助けてもらう。今は助けてもらう。で、いつかその友人を助けんならん日がまた来るわ、人間は。「自分は孔明さんに助けてもろた」と。ま、でも〇〇さんからこう頼みごとをね、助けてあげようかな？こういう日が来る。それが友達の輪なんやて。今20人おっても、ま、失礼やけど60すぎたら何割が生き残っとるか？こういうことが一番大事。それぐらい経済っていうのは難しい。

真田孔明：

10年で100人に1人しか残らないんですもんね。計算・・・

北野会長：

いや本当そう。失礼やけど本当そうなんやて。だからそうなるって死んでった人はただ利用しただけのような気もするけども・・・だから残った人がやっぱ勝ち残るゲームやから。ね？あとは自分の友達さえ食わなきゃ死んでいく時も清らかに死んでいける。自分の友達食ったやつがやっぱ後悔をするわけや。

真田孔明：

あー、裏切って・・・

北野会長：

裏切り者ってのは明日がないがね。裏切ってその時すごいね、いいんやけど、本当にすぐうまくいかんようになるんやて。あんたたちがよく「北のセオリー」て書いとんだかいね。あのセオリーは金を、軍資金を日本の国からもらったセオリー。ほって、よく考えてほしいんやて。じゃあ国ってのはどうやって回っとかっていうたら、要は動脈や静脈が全部、全部国民なんやて。あれは。だから血が行き届く人間が初めてこう生きとるわけやろが、だから金の流れってのは大事なんやて、静脈やから。だから金を動かして、だからおれからいうとこう返すとか・・・金はさ、いい道具で使い勝手があるもんやろ？金ってのは持てば。チビでもデブでも金持つだけでモテるようになるわけやから。まゝそういうことを含めて、強い人間になっていかんと勝ち残れん。今みんな40そこそこや。50なっとる人もおるがかおらんか知らんけども、勝ち残りゲームってのはやっぱしんどいよ。でも一つだけ皆さんには救いがある。この会は、失敗したからって切り捨てていかんから。きっとそういうタイプでないかなと思うんやけどどう？（笑）

真田孔明：

（笑）

北野会長：

いや、20人ほどメンバーがおるいうから、100万ずつこう20人の応援団がおってみられ。一回失敗してもお前そやろ？また次のゲームに取り掛かることできるやん。その時みんな、「じゃあ、おれ100万でいいところを600万出すわ」っていったらもう出資金がもう2,600万なるやろ？おれが言ってるのはそういう原理のところが一番大事や。（スープを飲んで）これなに？おいしいね。

店員：

えんどう豆のスープです。

真田孔明：

えんどう豆。

北野会長：

本当？孔明、お前豆やとすぐ吸いまくるがの。

真田孔明：

（笑）

店員：

締めのお料理なんですけども、握り寿司か鴨肉のお茶漬けかお選び頂けます。

真田孔明：

お茶漬けか握り寿司か?じゃあお茶漬けがいい人。

北野会長：

おれお茶漬け。いや、屋築地行って寿司を・・・

真田孔明：

ああそうですか（笑）じゃあお茶漬けを。あとは全員寿司で。

店員：

かしこまりました。

真田孔明：

日本でまだ寿司食べてない・・・

北野会長：

本当？

真田孔明：

はい。

真田孔明：

これって誰か一人成功を出したら、例えばそれを聞いて自分のものにいかすこともできる人いますもんね。

北野会長：

いやいや、あのね、成功者の横にこそね、成功があるんやよ。失敗しとるバカなやつとあそんどってみられ。ほっといても沈んでいくんやから。いやいやこの前タイで彼がね、よかったと。こう聞くだけで次のよかったいう人がどんどん現れれば、やっぱ一番最強の会になると思う。いやおれが思うにね。あとはだからいかに、所詮はさ一本の柱では家は建たんが。だからそこらへんを、おれが言いたいのはそういうことを分かって自分たちは生きる。こう20本の柱があればそれだけ大きな屋根ができるよっていうのをおれはいつてるんや。ね？あとは儲け方は株で儲けようと一般自分の事業で儲けようとなんでもええんやて。あとはそれをどうやって協力体制をとって裏切りがない世界を生きるかっていうこと。だからおれは孔明はんという人なやて。継続は力なりや。継続できないものにもものって成功は絶対にないよって。

店員：

こちらサービスのエビのチップスになります。

北野会長：

なに？

サッチェル：

エビだそうです。

北野会長：

おれだけけ？エビ？

真田孔明：

二人に一つ。

北野会長：

〇〇もこれぐらにかっぱえびせんでも食べとりゃお前大丈夫よ、健康は。お前そんな脂ぎったもんばかり食べとったらもうアウトやぞ。

真田孔明：

なんか会長に逆に質問ってないですか？

北野会長：

なんでも質問あったらいうて。おれは酔っ払いのかっぱらいやからまあ正解か正解じゃないかはわからんけど。

メンバー：

今1万7000円ぐらいじゃないですか、日経平均が。やっぱこれから売りをやっていったほうがいいですか？

北野会長：

相場から見たらけ？いやあ日本経済自身はね、あんたのいう売りやと思うんやけど、海外勢は日本の新しい原案をおれ求めとっとおもとるんやて。今ね、いやあなたは日本経済の株だけ見とる。おれからいうと世界で、上がとる株なんていうのは、日本ぐらになんやから。バカ上がりしたのは。ね？だから世界の投資家もやっぱ日本を見とるとおもうんやて。ただ、今日見てみられ。昨日の会も今日も、全然株に問題のない状況でない？上がる、下がるいう心配もどっちもないんやちゃね。こう無風状態や。まー心配いらんが。ということは落ち着きすぎとる相場なんやて。だからせいぜい動いても100円ほどや。小波やて。こういう時ってのはね、おれはどちらに動くかわからんと思うんやて。ただ例えばいい政策がでたり、例えば中国が6.5%いうてたん修正して8%にしたとかさ。そういう爆弾がどっかで爆発しない限りは上がりようもない下がりようもない。だから最近売買高がね、もうどんどん減とる。うん、だから売れ残りの女みたい、昔は綺麗やったよねっていうとるだけなんやて、国民が。だれも振り向かない。こうなると相場ってのは動かない。私は大体いまだから二刀流をかけとる。

メンバー：

両方？

北野会長：

両刀。7:3でかけたり、2:8出かけたり・・・蕎麦屋の話じゃないよ、にっばちは。まあそこらへんが、まあどっちも切りやすいからまあおれからいうと儲からん相場やから、というのがおれの見方や。だからどっかで爆発が、どっかでミサイルが落ちたとかさ、そういうことがない限りはこの相場では日本の相場は動かんよ。でも外国はやっぱ一番甘い相場やから、日本は。みんな目つけとる。みんなこうジロジロっとしとるんやけど、なんかが変わらないと動きようがないんでない？せいぜい3末の配当金をもらってみんなチャラや。でもこう普通からいうと新しい材料一個出れば、やっぱ日本株こう上がっていくスタイルにあるわ。日本の国自身がこう儲けあるんやから。

真田孔明：

お金ばらまいてるし。

北野会長：

そうそう。あとだから昨日も言ってた日本の国がさ、ね？やっぱジャパニーズバズーカを、思い切って200兆・・・今度はやっぱ300兆ぐらいやっぱ爆発させんとやっぱこの経済はあがらんよ。あのね、経済が上がってね、80円から120円になって、株が8000円から1万・・・倍ほどになってさ、儲かったの誰か知っとる？投資家だけなのさ。あのね、会社勤めとる人、孔明の話やと620万人やら大企業におるんやと。いやその人たちが儲かったかっていうと1円も儲かってないや。

サツチェル：

むしろ給料下がったりしてますよね。

真田孔明：

うん、下がってますよね。

北野会長：

だからそういうことなんやて。だからおれがいうのは全く嘘のことを書いとるんやて。ビルゲイツが空売りでバフェットが空売りで儲かったことと同じなんやて。だからそこの彼がどうかタイで、んなバカな説教じゃ！みたいなさ、あっこたくさんね日本の株がさ、1万5000円からさ1万円なって最後には8000円割って7000円になるってあれだけネットに書くっていうことがもう嘘やて。だからおれはこういうのは絶対反対に回るよって。おれがいうた時に反対に回ってくれたからよかったんやけど、ああいうのってのはね、ほとんど人の錯覚を狙った金儲けをやっとるわけやろ？嘘で金儲けをしようとする、やっぱ企みなんやて。「企てる」って人も・・・2人ぐらいおっからね、ここに。そやろ？企てが得意な人もいるんやて。そういう具合に見ると結構見えるもんがあるんでない？1億が1500万になっても笑っておれる体力があったわけやから。わかった？だからそこに自分を見なきゃ。やんちゃしてとった銭なんてね、所詮は長続きせん。いやいや本当に。だから今のその笑顔が継続したほうがいい。それが金や。そうやって笑っとる以上は女も食べ放題や。

真田孔明：

笑顔に来ると。

北野会長：

そうそう。いやいや本当にそんなもんやよ。あのね女に嫌われるようになったら金なんて絶対こないから。お前生きたる女でさえ来んがよ？そんな死骸みたいな男に誰くる？まあそういう具合に覚えとくと持てるようになると金が自分にくっついてきとる。

真田孔明：

あとは脇を締めたまま。

北野会長：

ま、儲かった一割ぐらいは女に配当金だしとっても大丈夫。

サッチェル：

ああ一割ぐらいは。

北野会長：

うん。一億儲かったら、ま、とりあえず君と会ったから今日の幸せがあるいうで一割ぐらい配当金出しといたらい。これ二割以上出すようになると自分が破滅するんやて。まあこころへんが北のセオリーの一番大事なところや。お前人生の話やから。

真田孔明：

嫁さんに渡す分はいいんですよね？

北野会長：

嫁はんもね、余計やりすぎると調子にのるから・・・

真田孔明：

ああそうなんですね（笑）

北野会長：

あれが一番危険なんやて。あれは甘やかすと一番銭にならん。あれは昔からいう「失敗の母」いうやろ？失敗する母や。これは妻とも書くんやから。覚えとかれ。妻・嫁はんをのぼせあがるほど金をやってさ、ちやほやすると、不景気になっても嫁さんは使った思い出でさバンバン行くわけよ。で、そのうち「あんたが最近稼がんから」いうて雌鶏が鳴くようになったらもう終わり。ね？雌鶏が「こけこっこー」いうてでかい声で鳴くようになったらもう終わり。うちは崩壊。世の昔からお前伝わっとる。

サツチエル：

じゃあ前のめりにならないように嫁さんにも決まった額をこう・・・

北野会長：

多少の贅沢大丈夫。だから、例えば海外でコンドミニアム買ってもさ、「これはお前のために買ったんだよ」と。でも妻の名義にはしてねえんやから。

真田孔明：

確かに（笑）そこは脇しまってるんですね、会長。

北野会長：

いや本当やよ。だからけっこう人間っちゃあそんなもんなんや、そういうことも大事、覚えとく。指輪買ってやって指輪まで会社の名義にすることはないけども、ね？やっぱマンション買ったり車買ったり会社・・・まあ車は償却資産で5年も経てば0やけど、それでも経費になるんやて。だから長い人生っちゃあいろんなことあるから、ここに脇しめて。おれは会が長く続くことが、おれはただそれだけ。会が長く続けばみんなが階段を上がってくるわけや。これが一番のおれは「継続は力なり」で一番大事やよって。結構ね、みんなね、失礼やけど、ほとんどみんな一匹狼や。んな昔の友人がさ会社勤めしとって、今のお前となんや遊びたないが、お前経営者や。

真田孔明：

確かに立場変わっちゃうと遊べないですよ、もうね。

北野会長：

お前の友達で東芝にいったやつもおったやろ？お前3万5000人つった首切り対象におるんやぞ。こういうことなんやちゃ。だからね、経営者とそれは全然違う。もうね、半端もんになった瞬間自分の人生を生きるしか天命が残っとらんわけよ。ね？だからやっぱこうやって支えあってくれる友達がおったほうがいいわけよ、俺からいうと。でその友達も65になってみられ。もうほとんどおらんかもしれんぞ。だからおれが言いたいのは、銭儲けも大事やけど、年いっても友達が減らないようなシステムを作ったほうがいいんでないかいうことをいうてるわけ。一人だけだと海でも溺れるやろ？で、みんなこうさ、繋がっとればこれ案外生き抜くこともできるんでないかなと思う。だからそういうような人生に変えていかんと。一匹狼は当然暴走するやろ？ブレーキはきかん、アクセルは踏みっぱなし、酔っ払ったら何がなんだかわからんだと。もう気がついたら天国逝ってしもとったと。こういうことはやっぱ多いわけやから、だからそこをみんなやっぱもう少し注意してさ。だから戒め合うために一ヶ月に1回会合を開いとると。ね？まあそれ以上に株でゼニ儲けたかったらノウハウを教えてやるっていう。おれが言いたいことはただそれだけや。おれも本業をね、会社やって、海外含めて10いくつあるけど、金ってのはシステムで儲かるだけであってね、金ってのはシステムや。どうや？AirBnB。お前が毎日掃除しとっから儲かるってことではないやろ？

メンバー：

そうですね。

北野会長：

あれね、太陽がでて、パネルに当たってあんたんとこにゼニが入ってきとる。別にお前がさ「僕が〜」いうてこう一生懸命こすっとるわけやないんやから。この違いがわかるようになるとやっぱおれの言うことがわかってきとる。

真田孔明：

そういえば今何にもしてないですよ。太陽も太陽だし、AirBnBもスタッフがやってるし・・・マーケティングっていう概念がないですよ。

メンバー：

そうです。自分でやることをやめてから調子がよくなりました。会長がおっしゃってるように必死になってる時は。それを辞めて考える時間が増えて・・・

真田孔明：

さすが月官門。

北野会長：

そやろ？だからおれいつも孔明にいうとる。「おれ結構いいこというとるんや」って（笑）

真田孔明：

(笑)

北野会長：

おれは結構一生懸命しゃべっとし、いいこと言うとりんやけど。いや、上手に受け取ればそうなるんやて。仕事ってのは失礼な言い方かもしれんけど、経営者が仕事するようになったらもう終わり。経営者は経営をすればいいんや。労働者は仕事すればええんや。わかった？経営者はゆっくり考えて経営をすればええんや。経営者が労働したってあんたどうすればええのちが。わかった？おれが言いたいのはそういうことをただ一生懸命言っとるんやけど。違ったね。ゆっくり遊ぶようになると。

真田孔明：

そのうち服装がだんだんブランド品になっていったりして(笑)

北野会長：

でもね、シンプルに生きとる。金は日本国内で吸わんとなるべく海外へ飛ぶ。横に先生みたいなのがおっから。これね正面は善人になったような顔をしとっけど、腹は悪人やから。腹は一緒やから大丈夫。いろんなテクニックはやっぱあんたが教えてくれ。そやる？

真田孔明：

しかも全部ビジネスクラスで移動されてらっしゃいますよね(笑)

北野会長：

だから結構不思議な男なんやて。いやだからやっぱ1億を1,500万飛ばしたって笑って言っているとこがきっちいし、ちごとる。普通ならさ死ぬか生きるかや。彼にしたら1億の銭が1,500万に溶けてもエヘヘの世界やから。

真田孔明：

5万円貯金だと170年ですからね(笑)

北野会長：

だからいろんな話を聞いてて、やっぱおれなんか皆さんからみたら長老みたいなもんやからさ、いろんなこと知っとるわけよ、商売やってきてさ。だからそれで何かに気づいて、一番高に登られたらやっぱでかいもんや。たった一段やけどでかいもんや。だから儲かる産業におる時はバンバンのばしてけ。まあだからTの手仕舞いもいい加減にしとかんと、お前永遠に孔明の思い出引きずって人生を生きなならんようになっぞ。「ああおれも80歳になったけど、あの孔明さんと会った時に買ったTが今もまだあるわ」って(笑) Tの思い出になってしもてお前酷いやろが。(他のメンバーに) そっちどう？いい？絶好調？

メンバー：

はい。おかげさまで。

北野会長：

本当。

真田孔明：

商品数増やさないでやってるんですか？

メンバー：

はい。ずっと。

真田孔明：

すごいですね。

メンバー：

分社化も進んでいます。

真田孔明：

後ろに？

メンバー：

はい。

北野会長：

伝票操作だけでできるんやから。あとは今の女でも従業員にしてさ、まあ奥さんにバレっとやばいからね。

真田孔明：

いま独身？

メンバー：

はい。独身です。

北野会長：

タイでもいたけど・・・え、タイきとったよね？

メンバー：

はい。

北野会長：

どこにおったんだかあんまり顔みんだね。最後の方は。

真田孔明：

いましたよ。

北野会長：

本当。影薄いタイプなのか。

真田孔明：

ひそめてるタイプかも（笑）

北野会長：

だいたい記憶力が悪いから。いや、本当記憶力悪い。昨日だから何時まで飲んどっただでか朝起きたら全然わからんのが。どっかで、騒いどっという思い出はあるんやけど。アルツハイマーやから。で、そのうちあのフィリピンあたりで、フィリピンの女も・・・まあやっぱフィリピンは介護施設にいいんでない？

メンバー：

あーそうですね、そういう波もあります。

北野会長：

そやる？お前あの自分の部屋も持ってるんやろ？フィリピンに。

メンバー：

賃貸ですけどね。

北野会長：

うそ？

メンバー：

深くかけたのはまだ完成してない。

北野会長：

大丈夫。おれはそれぐらいはお前の目を見ればわかっから。

真田孔明：

おー（笑）

北野会長：

いやだからそうね。完成したらおれが住む部屋にしといてくれよ。女付きでの。冷凍じゃない女やで。

メンバー：

魚（笑）

北野会長：

こういう具合に頼んどけば、まああれだけ必死に頼んだんだから使わしてあげようかなと思うかもしれん。その女と移住しとったりしてさ。ナニナニ島とかってさ。フィリピンはあの免税の島はないの？フィリピンに。

真田孔明：

フィリピンはITパークみたいのがあって、そこが税率が一律何%とかっていうのがありましたよね？

メンバー：

そうですね。あとビル自体が特区ビルみたいです。

真田孔明：

ビル自体にね。

北野会長：

あー本当。

真田孔明：

あ、でもフィリピン元々税率6%で・・・

北野会長：

6%なの？

真田孔明：

6%ですよ？

メンバー：

会社作ったら・・・

真田孔明：

ね。しかも税務署の人にお金を渡せば何でもやってくれるみたいないってますよね。

メンバー：

結構これは通じる国です。

真田孔明：

会長前にフィリピンにあんまり手を出してる人が統計的に飛んでるんだよねっておっしゃってましたよね？

北野会長：

あ、あれおれの友達がね、前の先輩たちが結構フィリピン好きで、マカティとかしょっちゅう。

真田孔明：

セブですか？

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

セブ、マカティ。

北野会長：

そう。セブ・マカティ・・・あのマカティ。あの横にね、フィリピンでは似つかないような大きな団地があったんやて。そこがね、当時は一億何千万かやったんやけど、友達みんな持っててね、結構遊びに行ったんやて。

真田孔明：

あー、その時会長も行かれてたんですか？

北野会長：

そう。僕はあの付き添いみたいな感じで・・・

真田孔明：

あー先輩方ですもんね。当時の大先輩みたいな。

北野会長：

先輩。ところがね、なぜか連鎖で飛んだね。だからあの、だからおれあれからフィリピンいかんやて。だからおれもフィリピン行ったら飛ぶんでないかなと・・・

真田孔明：

この直感がちょっと怖いんですよ。

北野会長：

やっぱあの値段のこれやる？食事もそうやん。そしたら感覚があったかいやろ。そうすると頭もだんだんボケてってさ、エイズ・サーズじゃないけども、なんかそういうのもあるんでないかなあと思うんやて。

真田孔明：

こういうのって怖いですよ、兆しなんで。

北野会長：

みんなね、友達が・・・賃貸やってた連中もなんか変なところに走り出してね。健康産業の今度商売やるからって。

真田孔明：

それでフィリピンに健康産業やるみたいな・・・

北野会長：

そう。んでなんかバカなこと言い出してからみんな飛んだわ。

真田孔明：

それフィリピンが原因で飛んじゃったんですか？

北野会長：

んーなんかね、フィリピンの女にいかれたっっちゃうか・・・なんかねー？

北野会長：

当時やっぱ決算書でね、フランチャイズって嘘書きできんもんで、3～4億は毎年利益上げとったんやて。

真田孔明：

利益で？それでも飛んじゃうんですか？

北野会長：

あ、あれね、余計申告しとるやつの方が余計飛ぶがやて。あ、こんな話はじめてやったっけ。あれね余計申告し出すと、飛ぶが。えーと今日弁護士も経理士もおらんからいうけど、税金が・・・所得が発生するやろ？そうすると税金が増えるんやて。で、増えた税金は6ヶ月経つと中間納税に変わるわけや。ところが、下がったゆうて銀行に決算書書くのはものすごい嫌なことなんやて。経営者にすると。次の融資がこなくなるから。そうするとそのうちに人間ってのは嫌な話やけど、おれがブランド品の服着てさ、弄られて。ね？ブランド品のあれ持ってブランド品の・・・こうなると結局やっぱね所得こう伸ばしたくなるんやて。

メンバー：

あー。

北野会長：

そういうのの結末ってのはなんかって言ったら、シャープとか東芝なんやて。大きな結論すれば、ああいうやつは見栄っ張りになっただけや。あとは大体送ってっただけ。18代ぐらいね。社長をおくってっただけや。だからどちらに生きるのかなんやちゃね。見え張って生きれば社長交代やね。どんどん交代して粉飾決算を続けるっていうのが一つや。清く正しく美しく・・・ごまかさんでいかんとまた金も残らんが。金ってのは真面目にやったらね、600万毎月あったって税金払って中間納税払ったらほとんど43%の21%だから65%ほど失われる。

真田孔明：

えー！すげえ。

北野会長：

そやる？これが経営になんやて。だから経営者ってのは以下に上手に騙しながら経営しないとうまいいかんかっていうのがおれ言いたい。昨日も6から5引けば1やと。5から6引くバカは倒産するがやて。だから経営者ってものすごい難しい正義もおるわけや。だから以下に金儲かっとなるとき残さんと、儲からんようになったら金っちゃあ残らんやて。

サッチェル：

確かに。

真田孔明：

確かにネットの世界でも稼げる天才君みたいなものいっぱいいましたけど、ほとんど残ってないですもんね。

北野会長：

残った天才君はいねえんやて。

真田孔明：

うーん、パッと稲妻のように降臨するんですけど・・・（笑）「こうやっておれは・・・」って言って。フェラーリが後ろにあったとかいろいろ天才君たちが出てくるんですけど。いなくなっちゃいますね。

北野会長：

やっぱね、やんちゃしてもね。やんちゃしても生き残ったのがきっちいんやよ。生き残られんやつは所詮はね、死んでったやつなんやから。まあなんせ生き残られ。んなもんね、多少の犯罪は大丈夫や。

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

いやいや、おれからいえばよ。「北のセオリーは犯罪をすることから始まる」それもなんか嫌な話やね。でもね、人間てのはほとんどはそんなもんやよ。ね？だからみんなね、1代目か2代目か知らんけど、やっぱやってきとるわけやから、なるべくやっぱ人生楽しいように生きた方がいいんやて。サッチェル。これなんやろ？

真田孔明：

牛肉、すき焼き。

サッチェル：

牛ですね。

北野会長：

あ、牛か。

メンバー：

だいぶ熱かったですね。

北野会長：

そんな危ないところ触るなよ～ (笑)

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

結構いい、的確やろ？そんな危ないところ触りたい・・・触りたくなるまた年頃なんやちゃの。

真田孔明：

でも地下ソサエティに入らないままで、たくさん掴んじゃったとしたら絶対仮想通貨セミナーとか行っちゃいますよね (笑) さて、どう運用、再投資しようかみたいだね。

メンバー：

まず、ずっと全部頑張ってた気がしますし・・・

真田孔明：

もっと再投資再投資みたいだね。

メンバー：

それでまたわけのわからないものに入れてしまう。

サッチェル：

で、税金はいっぱい払って・・・

真田孔明：

気がついたら「あれ？手元にもない」で追徴課税が来ると（笑）

サッチェル：

気づいたときは全く無くなってた（笑）

北野会長：

いや、人間っちゃあほとんどそんなもんやよ。あのね、金を掴んだ人ほど不幸になるが。

真田孔明：

ほんとそうですよね。

北野会長：

だからいつもあんた最初会った自分に、だから歌を歌って子守唄のようにね。歌ったのがそこなんやて。

真田孔明：

今AirBnBって最近ちょっと危険な兆しがあるのが、なんかみんなが儲かる儲かるって聞こえてくると、あとはみんなセミナーやり出しているんですよね。

メンバー：

そうそう。実際やってみて、そういうセミナーに集まる人ってのはそんなに資金がないので小さい部屋でコツコツですね。そうすると小さい部屋は飽和状態になってて・・・

真田孔明：

検索するとすぐ出てきちゃうんですね。

メンバー：

そう。もうライバルが多すぎてダメなんですよ。おそらくそのセミナーやってる人たちってもっと資金にいる部屋をやってるんです。だからもう下を潰すぐらいのつもりで・・・

真田孔明：

あー逆にね。自分たちのターゲットじゃないからね。

メンバー：

それは感じますね。

真田孔明：

うーん。で、ネットかもやっぱり僕が誤っちゃったのは昔「ネットってこんなに稼げんだ」みたいになっちゃったんですよ。広告打てばどんどん入ってくるから。でもある日突然ね、ぐわーってなってくるんですよ。自分が市場が広がるって思ってた以上に、プレーヤーがどんどん入ってくるんですよ。ライバルが（笑）多分そういうことですよね。

メンバー：

今まさにそうですね。

真田孔明：

だからやっぱ掴んだときに何もしないで、銀行口座に貯蓄していくのがやっぱり一番ですよ。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

投資も何もしないで。それは。多分それはバブルっぽいんですよ。AirBnBね。最高値だと思うんですよ。

メンバー：

もうその再投資というか、増やすことはもうせずに、現状維持でっていう。アンバランスにそのままで。

サッチェル：

（笑）それ会長と会ってなかったらもっといっちゃってましたよね。

メンバー：

もう全国に（笑）

真田孔明：

再投資しちゃってた。むしろ物件買ってたかもしれない（笑）

メンバー：

みんなが騒ぎ出しちゃったんですよ。株と一緒に。「あ、同じかな」と感じました。

真田孔明：

あれ、危ないですよ。

サッチェル：

みんな騒ぎ出しちゃったから。

北野会長：

その戦争が終わったときに、結果が今度出てくるがから。今度安い物件が今度転がってくる。そこまでだから金さえ持っとればね。今度はAirBnBで失敗したところが出てくる。

真田孔明：

会長そういうことやってる（笑）

北野会長：

そう。だからそこには鎧と兜と刀が落ちてるんや。戦わずして勝てるゆうて。

サッチェル：

拾えばいいんですね。

真田孔明：

待てない人が飛んじゃうんですね。本当に。

サッチェル：

なるほど、株と一緒にだ。

北野会長：

株でも頂上で繋がった人がこう暴落にあったら終わり。

サッチェル：

（笑）T。

北野会長：

最後は一緒にの記念碑になっとっかもしれない。そこらがわかるとわからんとじゃ天と地やよ。

サッチェル：

天と地ですね。

北野会長：

だからわしらでも今日ゆうとったやる？築地に持とったマンションを、オリンピック・・・
「ジャパン！」いうた瞬間にあれがバツと上がって。おれなんかだからすぐバツと売っぱらってん。あんなもんね、あのときいうた瞬間だけなんやて、本当は。あれからみんな上がるとるなと思っとっても、あんな上がるとるいうけどもあんな売れんが。

真田孔明：

あ、売れないんですね。額面が上がってるだけで。

北野会長：

だから逆にそこがチャンスなんやて。だから今度は安いもんを手に入れる。

真田孔明：

「ジャパン」（笑）おもしろい。

北野会長：

いや、本当そうやよ。だからね一息おくとね、人生っちゃあね変わった景色っちゃまたみえるんやて。

真田孔明：

一息置けないとダメなんだよね・・・つかんだあとで。それがわかってなかった。

北野会長：

でもね、あの金ってのはやっぱね努力して儲けたほうがなんとなくいいんでないかなと、最近思い始めてる。

真田孔明：

あー。

北野会長：

あのね、辻斬りやって成功したとかさ、傘切りやって儲けたとかさ、居合い抜きでは良かったとかさ。最近は何だってきたからあんまり体うごかしたくないんやて。タッチの世界に・・・タッチいう映画あったの知っとる？野球の。タッチ、タッチ♪ああいう感覚になっとるがね、脳が。もう軽くなってしまっさ。ボタンを押せば金やと。こうば一っと地雷仕掛けてさ、皆さんが踏むわけや。俺がば一んって、ば一んってこう儲かると。そういうような感覚が多い。これってのは労働対価じゃないし、で、そんなにその金も欲しくないの。俺はシンプルやからそんなに金も使わんが。だからこの前・・・まあいいや。皆さんから見たら贅沢しとるかもしれんけども、自分では儲けた銭から見たら贅沢なんてほとんどしたことないほどや。だからすごいシンプルや。いやいや本当そうやよ。だから、そういうおれが思うがにシンプルオブザベストみたいなさ、そんな会にしてったらいいんでないかなと。そのうちさ、手繋いどったら。20人のうち15人が浮き上ればさ。横にこう沈んどってもやっぱ浮き上がる話も聞いとるわけやから、おれは浮くんでないかなあと思っとるんやて。そういう連結決算じゃないけども、そういうところが大事じゃないかなあ（笑）まあそういうこともあるやん。

サッチェル：

成功してる人のそばにいたほうがいいですもんね。

北野会長：

絶対いいがちゃ。あれだから本当にね失敗したやつ横におったら絶対いいことないよ。あんなの地獄なだけやから。女でも下げマンの女は絶対下げるっちゃうんやから。あとはやっぱ今言ったように成功した人の話を聞いとった方が成功しやすいんやて。柳の下にドジョウはおったいうて、次に行ってもドジョウがおる確率がたけえんやから。それと同じことなんや。

真田孔明：

なるほど。

北野会長：

やっぱだから成功者と手を取り合っとれば、あんま沈んでもええんやちゃね。いやあおれはだからそういうことを言いたいんや。特にこう融資を引っ張ってここに座っとるんであれば、利息は安いんやから、まあとりあえずなん年ぐらい？33年分をとったわけやから。あとは元本から返済をかけていくと。こっちで返済をかけるやろ？こっちで銀行を口説くんやて。「お願いします」って。体まで売らんでもいいけどもとりあえずお世辞の3つや4ついうても、また銀行から玉を引くわけや。こう玉の循環ができるようになると永遠に自分は潰れんということがわかる・・・ね？あとはどこで、誰かが「Tで失敗した」いうて「孔明さん今それいくら？」いうて。「500円」「じゃあそれ買っとこうか」こんなような感じ。わかった？これが一番大事なこの条件なんやて。

真田孔明：

塩付いてんな一って時に（笑）

北野会長：

そうそう。一番いいのはね「おれ、あれですごい損した」っていうやろ？その会社絶対潰れるわけねえんやからそれを買っとけば絶対儲かる・・・わかる？あの暴落するやろ。がばーって。あの暴落したあとは必ずおれみたいなやんちゃもんおるからどんどん買っていくんやて、だから必ず反発は起きる。プルで足Uターンするところあんだかいね。あれと一緒にや。蹴っ放った分だけやっぱはんどうが大きく来られる。

真田孔明：

チョロQみたいに・・・

北野会長：

そうやよ。それがねすごい大事なことなんやて。まだ時間あるのこれ。ちょっと時間みといてくれ。

真田孔明：

はい。あります。

サツチェル：

月に一回集まりたいですよ。

北野会長：

そうそう。だからその時にやっぱ「100億おれ溜まったからこれからどう生きようか」とかさ。ま、とりあえず1億。次は1,3,5億になってから10億になるのはあっちゅう間やから。いやいやそこまで稼ぐシステムを脳に入れてしまえば、もう簡単。

真田孔明：

で、そこに行くまでにみんな死にますよね。大多数。

北野会長：

いやいや、おれだから昨日言っとるのはそういうことを言っとるんや。だから、おれは絶対にこの会を沈めんから継続せえっていう。絶対それぐらいは沈めんから。いや、自分が生きてきた人生を知っとるから、そんな沈めることもないんでないし、これね、話で一回聞くやろ？ね？一回こう言うてさ、おれはいまは、まあ、皆さんと話しくなると、皆さんは幻想だけで動くわ。聞きたい幻想だけで動く大体いい調子のいい話ばっか聞いてさ、大体ほとんど次来るものに決まっとる。ドボーンしかないんやから、あんなもん。もう簡単に騙される。〇〇みたいに腹が悪かったら大丈夫や。これはね女ぐらいにそうそう騙されんから。これはほ、どういうがかね、いいように言うと懐が深えんや。懐がものすごい深いタイプ。でも企てもする。孔明もだから一緒にや。タイプが一緒にや。

真田孔明：

月財門（笑）

北野会長：

やっぱ企てるゲームは彼は全然違う。でも二人ぐらいの鋭い奴はどっかで勝負すんだかい。ね？だからさっきのやったゲームは正解のゲーム。お前にしたらたったの8500万しか損しとらん。でもそれが如何に自分の健康、体にいいかっていうことを考えたらものすごい安いもんや。

真田孔明：

命を救ったわけですね。

北野会長：

安いゲームやったんや。

真田孔明：

そう思えばいい。

北野会長：

金ってのはそう思えば結構使う道具にはなっとる。そういうことなんやて。最近は本当に目もパチパチできるようになったし、顔も笑顔でいいよね。

真田孔明：

除霊されたような感じですね（笑）

メンバー一同：

（笑）

北野会長：

いや一本当はなんか水子の霊に守られて生きとったらしいけど、やっぱああいう凍りついたところの目はね・・・いや、おれハワイで見たときになんと悪い男が一人だけ混じっとるなと思つてさ。やっぱねああいう大きな、若いかに課題を抱えとったらやっぱしんどい。辛いのは体から出る。で、彼みたいに封印しとったものがぱーんと開くと肩が楽やろ？で、これがまた継続は力やから。やっぱ継続していけば銭は太っていくんやから。ね？別にねそんな欲せんでも、ちびちびととつとれば・・・あのねガバってとるよりもちびちびと取ったほうが金ってのは溜まるんやて。

真田孔明：

ガバって取りに行こうとして皮算用したときに飛びますよね。

北野会長：

いや、だからずーっとそうネットに書いてあるが。「日掛月掛心がけ」とかさ。そうやって書いてある割にはね、大股で歩きたがる。

真田孔明：

あとやっぱ稼ぎ出してありがちなのが、こうやって他人の話を聞いて「これ面白そうだ」って、本業があるのにそっち手を出しだすと飛んでく人が多くないですかね？向いてる向いてないがあるから。だからAirBnBとか聞いて「600万かよ」とか聞いて手をだすと（笑）

北野会長：

案外失敗すると。

サッチェル：

会長という軸がぶれると。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

やっぱこれ一独立起業して最初の2〜3年ってね、あったんだよね、いっぱいね。2年ぐらいか。

北野会長：

いや、やっぱ成功したってのはいいことなんやて。いやおれね、隣のAmazonの彼にも言うのたんやけど、やっぱ成功するってのはいいんや。だから成功したもん同士がまた語り合ってけばね、会は伸びてくがやて。最近サッチェルがモテ出したいうぐらいなんやから。お前ね。いやいや公演者が・・・聞く人が多くなってきたが、女性がファンが多くなったが、夜遊びがよくするようになったが、それはなんかわからん。いやだからモテるっていいことなんやて。

真田孔明：

全部あってたりして（笑）

北野会長：

で、人間はみんなそういうもんやから。

サッチェル：

会長と会って「これぐらいになりたいな」てっていうのはもう・・・

北野会長：

見えてきた？

サッチェル：

いや、そこはもうクリアしたんですよ。第一段階。最初の。

北野会長：

ほんまけ？おい。よく聞いたらおれの背中がもう見えとったりして（笑）

メンバー一同：

（笑）

真田孔明：

会長の背中が（笑）

北野会長：

いや。でもね、人間ってのは本当にそういうことあるがちゃ。「すごい人やなあ」とおもったのに、なぜか背中が見える日があるんやてね。

サッチェル：

会長じゃないですよ 汗

真田孔明：

しかも小さく見えるみたいな・・・

北野会長：

そう。

サッチェル：

いや言ってない 汗

真田孔明：

いや、他の人。他の先輩で。

北野会長：

あの背中が見えた瞬間てのは、もうその人を追い越してしまつとるんやて。

真田孔明：

へー！

サッチェル：

会長は話せば話すほど遠のく感じですけど、最初の目標ですね、自分の中の。そこはもう・・・

北野会長：

結構バレンタインでないのに口がチョコレートやからね。こういうのは気いつけんにゃあかんよ。

メンバー一同：

(笑)

真田孔明：

こういうときに気をつけないといけない。脇が空いてると (笑)

北野会長：

そうそう。まあ人間ちゃ案外そんなもんなんやて。

サッチェル：

そうですね。株の運用額としてはこれぐらいになったらいいなあってのはもうクリアしたんで。また次のステップへ。

北野会長：

いやいやみんなそうやよ。だから株ってのはあなたにとって右・・・左腕かもしれん。ほって、実業は右腕なんやて。右腕でこうやって、左腕も使う。ほってその脚に右足と左足ができて、ここが体になるんや。そういう具合に考えてもらおうと、脚がきくようになれば地球儀を歩くようになるだろうし、右手に金、左手に女とこうなればまあ人生は謳歌できる。と思っと思ってください。そこらへんがおそらく最大限でないかなと思う。だからほとんどの人がいい会社に勤めて3万4000、東芝に入っとれば今度首切りにあうんやから。そういうこと思えば皆さんは幸せやったと。ね？一人のパナソニックもいなく、買収されるシャープにもいなかったと。いうことを考えればみんな幸せや。だから半端もんっちゃあね、幸せに生きることができるとなんやて。おれの結論的な話や。経営者ってのは半端もんやから。ね。孔明の話だとサイトでは今日・・・昔は50%、今のインドがそうやね。

真田孔明：

あー、起業家50%

北野会長：

そうそう。2メーターの玄関口でみんな商売やっとなんやね。昔は日本もあの町屋はさ、こっちに本屋あって、文具、工具屋あって、食堂あって連立しとったんや。だからサラリーマンが本当50%。あれもおれは合っとなん。いや、なんで人間がそれぐらい退化してっただけかっていうたら、やっぱ考えるよりも使われとったほうが同じ給料やったらやっぱ楽や。楽がだから・・・そやる？昔はおばあさんが川へ行って洗濯しとったんやから。今はボタンが洗濯すんやから。女子はボタンを押すだけなんやから。その分余った時間は旦那を追い込みかけとるんや。これが女の実態やるがいの（笑）いやいや案外そんなもんや。

真田孔明：

今、八十何%もサラリーマンいて、あの人たちがやっぱ市場がちっちゃくなっちゃうわけじゃないですか。企業が効率化したときに上場企業が。

北野会長：

おれね、もう5年ぐらいでほとんどの人が職を失うと思う。

真田孔明：

5年・・・そんな早くですか。10年じゃなくて。

北野会長：

おれは5年ぐらいでねえかなあと。いやいやよく考えてみいよ。普通の会社員は電車乗ったり車に乗ったりして通勤しとるやろ？あれGoogleがさ、あの・・・例えば電話番号。会社のね。それがGoogleが送ってくれるんや。タクシーで。もう運転手いないんやから。

サッチェル：

あー、自動運転ってことですよ。

真田孔明：

あ、自動運転・・・

北野会長：

わかる？そこにさ、例えば5名乗れたらさ、5名で連立してその会社まで乗っていくんやて。そしたら料金5分の1やろ？当然。で、帰りもボタンを押せばちゃんと会社の前に迎えに来て5人でうちに帰ったいう。まず車は売れんようになるやろ？経費がかかるから。これがAIの始まりや。まあAIの一番代表的なものは計算機なんやけど。お前ルート3を計算せえっていうても日がかかるやろうよ。お前計算機でルート・・・3のルートってパツと出るやろ？

サッチェル：

人並みにですね。

北野会長：

だから人並みなんやて。

真田孔明：

人並み（笑）

北野会長：

いやいやそういうことなんやて。経済はまあ先の知らん奴には、成功はそんなんねえ。あ、早くやっぱ新しいところにやっぱいかんと儲からん。

メンバー：

会長。一つ質問させていただいてよろしいですか？あの、会長がおすすめする保有資産。どれぐらい持つのを目指すのがいいか・・・

北野会長：

あー保有資産け。昨日も・・・

メンバー：

多ければ多いほど、というのもあると思うんですけども・・・

北野会長：

あのね、それは儲かった額にもよるけども、やっぱ3分の1ぐらいでいいんでない？3分の1はハッタリのために。保有しとる資産は3分の1。あとの66%は、やっぱ玉で動かしとった方が楽。

真田孔明：

現金。

北野会長：

うん。やっぱ特にETFとか債権とか、ね、そういうもんにまわしといた方がいい。「私こんなにすごいビル持ってるの」ってあんなもん売りになってみられ。いくらになっかわからんよ。

真田孔明：

あー確かに。

北野会長：

経済によってね。でね、みんな売りたいって言った時に一番下がるのは土地建物。いや、ほとんどそうやよ。こうやっぱ25年日本の土地がどんどん下がってって、「Tokyo!」いうた時だけどっか銀座・築地がちょっと上がったぐらいで、いやいや本当そう。だからあんま無理して、ただ新しい会社作っていく時に一番いいのは資産なんやて。「担保をあの人は持ってる」って言った時に銀行は安全性やから。そういうのはね、持っておかんといかんけどむやみに増やしても何のメリットもないんやて。

真田孔明：

それも暴落のチャンスとか、誰か売りに来たとか・・・

北野会長：

そうそう。で、すごい、前の価格の半分ぐらいやったから買ったとか、そういうのは大丈夫。俺もそういうこと結構やとるよ。だから築地もなんとなく「オリンピック」言うた瞬間に少し上がったから売っとけと。今度はその時まだ知らない人が港いうところでマンション売っとって、「じゃあこれ買っといた方がいいんじゃない」、そういうの、感覚的にいうと。だからハワイみたいにかくただバカに上がり続けとっとこは、今度は売らないの。いやいや保有資産にしとく。あんなもんタンポンじゃないけど担保、銀行の担保にしとけばええ。

サツチエル：

総資産は多ければ多いほどやりやすくなるんですか。それともあるところで止めといたほうがいいんですか？

北野会長：

んな、あのね金ってのはバイ菌のように増えてるんやから。そんなに金を意識すると金ってのはくっついて来んがね。だからほっぽいといたほうが金ってのはふえやすい。だから別に「これぐらいは損してもいいわ」っていう投げやりの気持ちで投資を始めると、金ってのは結構増える。それとね・・・

サツチエル：

持ってれば持ってるほどどんどん増えていくんですか？

北野会長：

そうそう。あの持っていると、株でもさ夢にかけられるようになるわけよ。例えば俺みたいにサッチェルサッチェル、〇〇がいいとかさ、〇〇はなんちゅうたかね。中国名でわからんけど。それから〇〇が昔\$2.5になったんやよ。そしたら、いらん錢持っているとああいうバカなもん買えるわ、今度。ね？今・・・\$2.5やから6倍ぐらいやね、今は。そういう株ってのはね売るのがねえんやちゃ。売るのがないんやちゃ。だから気が楽に過ごせる。こうやってみると150何円でやっぱTを買ったのも一緒なんやて。「潰れない」っていうからどんどん買い込んどけみたいな感じで。人間の心理をいつも俺おんなじやないかなと思う。だから強い金ってのはまた錢を引き寄せる。だから弱い金ってのはやっぱ逆に引っ張られていくんでないかなあと。銀行も金返して下さいいう銀行と付き合うがか、どんどん投資してくれる銀行と付き合うのも天と地違うんやて。いやわしみたいに金を返すシステムを忘れたような人間もおる、だからおれはいつもいうとるんやて。「利息は先に返させて」結構またこの一言が喜ばれる。ほとんど融資した支店長が栄転して、いいところいくがやて。

真田孔明：

売り上げ達成して（笑）

北野会長：

あれだから売り上げなんやぞ。だから皆さんは・・・

サッチェル：

会長。お茶漬けですね。

北野会長：

本当。お前先にいってくれよ（笑）

サッチェル：

熱々を。

北野会長：

お前おれが猫舌やと思ってか。おれ犬舌やから大丈夫。

真田孔明：

会長に融資した銀行絶対飛ばないわけですもんね？そのお金は。

北野会長：

絶対飛ばんよ。

真田孔明：

だから栄転になっちゃうわけですね。売り上げ達成して。飛ばないと。永遠に。

サッチェル：

銀行も内部で北のセオリーって言っているか知らない。あの人に貸してとけば安心だって（笑）

真田孔明：

北のセオリーやってるところの（笑）

サッチェル：

登竜門みたいな。

北野会長：

いや、本当ね、初めておうて、この前も言ったけど初めて会って三億やからね。

真田孔明：

ラグビー部出身（笑）

北野会長：

でさ、いや一えらい度胸のある支店長ですねーみたいな事言ったんやて。で、「支店長お前どれくらい器量あんがよ」「いや、最大三億ぐらいですね」っていうたもんで、「ま、今日の飲み代もかかるとる事やし、支店長。一回その三億見せてくださいよ」みたいな事言ったわけよ。そしたら「わかりました！」いうて。「じゃあ手形一枚持ってくるから」いうから「いいよ」ゆうた。「金利いくらなの？」いうたら「いやぁ力ないもんでコンマ6がいっぱいいいや」自分の裁量やよ。「いいよ」って。おれはパツとそれを聞いた瞬間に、嫁に「利息分だけ先に払っとけ」と。 $3 \times 6 = 18$ ・・・よう考えたら月15万やと。

真田孔明：

（笑）

北野会長：

この発想が大事や。

サッチェル：

月15・・・

北野会長：

月15万っちゃあね、よう考えたら安いもんやよ。15万で雇える人間なんていないんやから。

真田孔明：

いないですね。

サツチェル：

いないですね。

真田孔明：

しかも人より働いてくれる・・・

北野会長：

あとは簡単。あとは3億借りたら返してくれいうたときに必ずいうが。「それは無理や」って。そんな一回に返すのは無理やから、また利息だけは払いますよみたいなこというとるんやて。あとはただ引っ張るだけやから。銀行ってのは、ないゆうた瞬間に、木刀や拳銃持ってくるところじゃないんやから。あとは、利息あげてくれとかさ、まあそういうこというんだったら返すよと、この一言でまた銀行下がるわ。この「返すよ」・・・銀行ってのはね、あれ売り上げやから。売り上げってのは返品もありやから、返すよって言われたらあれゼロやからね。

真田孔明：

商品で言ったら返品するようなもんですよね。

北野会長：

そうそう。そういうことをおれはよく知ってるからいつもこの単語使う。たまに支店長が来てね、「そこまでいうなら返して下さいよ」って。ほんとおれムカついてね、いっぺんだけ、恥ずかしい話やけど返してってやったわ。だけどそのあとがまた良くてね。

真田孔明：

2億円ですよ。

北野会長：

そう。いやまたあれってのもパフォーマンスやから、やっぱ、ばーんと一回返して見せつけると結構信用があるわけや。なんでかって返したんや、一回で。その日で返すんやから結構ね銀行には信用があるがやて。もうワインもない・・・ワインもう2～3・・・まずくても2本ぐらい飲むんやからねおれ。ここがね最近・・・

真田孔明：

もうやめますか？

サツチェル：

変えますか？

北野会長：

いやいや、これ以上は、昨日も飲んでさ。あとはお前コーヒーでも飲もうよ。清く正しく美しく。お嬢さん！あ、これ店員じゃねえ。

真田孔明：

スイマセーン。あ、いまワインここで頼んだんですけどワインいません。

北野会長：

みんなコーヒーにして。飲み放題にコーヒーはないの？

店員：

飲み放題にはないです。

北野会長：

でも結構いい男やからさ、ワイン注文したと思ってなんかチェンジできないの？

店員：

そうですね・・・

北野会長：

ここを「うん」言わないとお前次はないよ。ここでYesかNoでお前のね人生をきめっかもしれん。有料でもいいから。

店員：

今回だけ。

北野会長：

あ、今回だけ。

メンバー一同：

おー！

北野会長：

（店員に）愛してるよ！結構判断が早いでないか。これが大事やぞ。今回だけ。これでも3回目やから。

店員：

あ、そうですね。いつもありがとうございます。じゃあ11杯で。

北野会長：

うん11杯。ほら、なんでも言わないと始まらないやろ。

サッチェル：

勉強になります。

北野会長：

わかった？だから人間ちゃあ本当そんなもん。11杯のコーヒーを器量で出す。まさしく器量やで。まあでもこの店の繁栄からみたら11杯のコーヒー出しとったほうが幸せになるんやて。また孔明さん使ってくれるかもしれんやろ？これでわしらおらんだら最悪やぞこれ。（笑）いやいやすみません言いすぎました。

真田孔明：

土曜日で外あんなに混んでるのに人気ないんですかね。そこそこ美味しいと思うんですけどね。

北野会長：

そう思うやろ？でも他の店はもっとサービスするんやて。

真田孔明：

あー。

北野会長：

だからその違いよ。今日築地をずっと昼回ったんやけど、みんな企業努力やもん。あの焼き鳥が200円、鰻も200円、卵も・・・あの焼いた卵や、黄色いやつ。前で焼いって200円やぞ。

真田孔明：

えーそれでよくやっていきますよね。

北野会長：

いやいや、だからあれくらい戦国時代なんや。本当は。あんたたちが訳のわからん銭を使っとっからこういうところにきてワイン飲んで遊んどるだけ。僕の場合はみなさんに甘えてワインを2本飲んでも一緒なんやて、おれの場合は。頭が狂ったぶしやから。黒田節やないよ、狂ったぶし。黒田節はまた別の歌やから。これ結構ね違うんやて、価値観が。やっぱ和をもって平和になるみたいなもんで、やっぱ和を、円を作っていたほうがおれはすごいグループになるんでないかなあと。みんな若いし。日本の人口は減るし、最終的には日本はアメリカと中国に食われていくんがやないかな。そういう懸念は多い。いやいやだからどう生きるかっていう。まあおれから言えばいいグループを作って、それを塔のように継続していくと生き残るもんは一人かもしれんけども、塔の形ってのはいろいろ文明文化が入ってくるからおれは強いんでないかなあと。で、できれば20人から円錐形にはならんけども、やっぱ伸びていけばそれなりに

いい情報もあり・・・まあおれの顔を見とる間はみんな貧乏はせんが。おれ昔から福の神と言われてるんやから。いやいや、本当。

真田孔明：

会長のところにくるドクターとかも、「もう何十年もおつきあいだ」と。それで「あの時はサラリーマンのお医者さんだったけど、会長とあったおかげでいまがある」と。「今うちは少ないんですけど20億ぐらい」とか言ってましたね（笑）

北野会長：

みんなそうやよ。

真田孔明：

あれすごいですよね。何十年も前のお客さんがああやってJBとか来てくれるってすごいですよね。

北野会長：

ワシとあってからこういう風になった人は・・・先輩たちはなんであんなに不幸になったいうて、やっぱね、金じゃなくて原因は女やね。やっぱあれは調子に乗った時、女とくるんやて。まあ下げマンとは言わんけどなんかそういうのがね。女はやっぱいいポイントになるんやて。

サッチェル：

昨日とかああいう時にママのいいなりで7万のボトル入れちゃうとか・・・

北野会長：

そう。あれでもう2時間追加するとどんどん金ってのは膨らんでいく。

サッチェル：

昨日会長ところどころピリッと怒るじゃないですか。あれはなんでなんですか？

北野会長：

いやいや、違うんやて。あのね、店のいいなりになると金ってのはどんどん増えていくんやて。

真田孔明：

あー。あそこでだーんと言わないと。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

この強弱がすごい（笑）

サッチェル：

理由訊くとみんなほっとするんですよ。そういうことかあって。なるほど。

北野会長：

金ってのはね強弱をつけて、生き物やから、金ってのは。普通の紙なんやけど金ってのは生きとる。なんでかっていうとみんながほしがとるもんやから。だから相手がさ、例えばママが来て「じゃあお前いっぱい飲め」いうたら、ママはおれにいうんやて。「XOでいただいていいですか？」っていう。「わかった。お前値段いくらや。5万円ほどか」いうたら「7万円」っていう。あっこで一回脇を・・・いい女やからって脇を開けるやる？あの女はケツの毛までしゃぶってくるから。

真田孔明：

あれ吸い取り系の女ですよ、完全に。もう。月修門の。

北野会長：

いやいや、そういうことが人生わかるかわからんかだけのもんやて。（メンバーに）だからお前は絶対に心配いらん。お前絶対女に騙されんから。女よりも腹は黒いんやから。これ絶対大丈夫や。いや、こうヘラヘラしとっけど、こうやっていい先輩を見習って金儲かってても騙されない男にならんと。まあ彼もクールや。結構一緒なものなんか持ってる。企てるっていう感じじゃなくて、なんかそこ二人がさっぱりしたもん持ってるような気がする。おれから見るとね。まあこんなかで一番純情なのはあんたや。

メンバー：

そうですか。

北野会長：

うん、純情や。やっぱ歳のにもシンプルなところを、一番シンプルなところで生きとっからほとんど波はないやろうし。あとはだから孔明さんと来とるってことはやっぱ山っ気あるからくるんやて。そやろ？山っ気あるからくる。だから重病にならんように。いや本当そうなんや。これ山っ気あんがやて。顔見たら紳士やろ。心の中に山っ気がある。だからこの会に入っとる。あんたも同じ。野心と野望を見つけに来とるだけなんやから。だから会が続けばお互いに野心と野望がお互いに生きるんでないかなと。生きるんやて。だから生さんといかん。生さんと。生かすっちゃうことが一番難しいんやて。いかすじゃねえ、生きとるっちゃうことが一番難しい。だから昨日はもう酔っぱらっとるから、まあ銀座のママにもだいぶ・・・乳がでかいもんでよ、神経がそっちばかいてても。いやいやそれは生きんといかんよゆう話をしとった。だからこの会はみんなね、どういうの？ロープで縛って生きれば、浮き上がとるやつが余計ならさ死ぬことはねえ。おれが言いたいのはいつもそう。命がなかったら死なんならん。だから命あるような生活の考え方をせんと、おれは生き伸びられんのでないかなとおれは思っただけや。あとは沈んでいきたい人はいずれ沈んでいってもいいんやから。だからおれが生

きとる限りはやっぱ浮き上がる世界の話の方が優雅や。そやろ？「自分金ないから」「女に失敗したから」って死んでいくやつよりも、やっぱ浮き上がった方がいいよ。銭持っとればさ、車も買える、女も買える、幸せも買える。銭がないと・・・

メンバー：

そうですね。

北野会長：

だから結構通貨ってのはおれは面白いし、やっぱそういうことも勉強していかれた方が面白いんでないかと。で、みんな結構おれ頭がいいとおもうんやて。だからいろんな通貨の話やとか、いやいやおれは株式の世界の話やよ？おれはその英語やと・・・おい！英語の先生！

メンバー：

はい。

北野会長：

聞いてる？通訳できる？

メンバー：

通訳はあんまり専門的なのはちょっと・・・

北野会長：

文章はできる？

メンバー：

そうですね。

北野会長：

あ、本当。英語の文章やったら大丈夫やわ。いいやろ？だからフィリピンのは言語をきちっとさ送ってさ。ま、Googleでも大体のことをこう書いてるんやけど、あれもいい加減やからね。

「は」と「を」がはっきりわからんだら全く解釈が誤解になることもいっぱいあるからね。まあやっぱそこらへんのメンバーもおればみなさんが海外出た時に彼を利用できるんやて。わからん時にこの契約書は、このサインは、ここら辺が大事や。わしの場合はお前そのサインとかそんなのは気にせんのやて。裏切ったやつは殺すと。これだけのセオリーだから。わかる？裏切ったやつは殺す。これだけやから。これみんな殺されたくないからおれにあんま反目うたんだ。僕の場合は純情やからまっすぐ。自分はせんけども人にさせる。このへっちゃまこのスタイルがみんな嫌。黙って人を刺すっっちゃうのが一番いいがやて。絶対前から絶対さしたらいかん。殺す時は愛人の女に後ろからいけて。まああとは黒田節

・狂った節にすればええんや。そうすると誰も責任取ることもなんもねえや。人間ってのはみんなそんなようなのが。経済もみんな一緒。恨みつらみやる人がそれをやると犯罪になる。恨

みつらみのない人がやると犯罪じゃなくなる。黒田節になっていくがの。いやこれ知っと思って結構また抜けるよ・・・伸びられ。一個知ると二乗が三乗になる可能性もあるんやから。あとはまあゆっくり考えて。お嬢さんもそこら辺、株で儲けるが、女たちを集めて・・・やっぱ一番ね融資引いて一番簡単な職業はやっぱ派遣業。今ね、低労働者っちゅうか・・・保育園の給料が安いとか言っとるやん。やっぱ一番金になるのは女なんやから。男なんてもういないが。男なんてもう飽和状態や。あとはね、使える女が残っとるだけ、多少。ほとんどは家庭に残っとる。だからあんたは家庭からその女を引っ張り出すことができればそれが全て金や。やっぱこうマイナンバーあるやろ？企業はどうしようもないんやから。給料払ったらマイナンバー書けてこうなるんや。ね？もしもし。聞こえてます？

メンバー：

はい（笑）聞こえてます・

北野会長：

やっぱそこやよ。いまからやっぱね、女を使う商売ってのは絶対いいんやて。あんた女やから女の気持ちわかるから、女を使わんでもええ。集められればほって勝ち。女集めただけで。そんな売春なんてしないでいいんやから。女集めただけで企業はみんな迎えに来る。もう一回ジャンプしたら、日本の経済がもう一段高に上がったら、まあ300兆出してバーンいうて玉かっつけたら、300兆。日本経済もっと上がる。今でさえ失業率こんだけ下がったんやろ？あと誰もおらんよ働くもん。いやそれをわかっとるかわかっとらんかや。働くものなんてもういないんやから。働かん女とか働かん男っておるやろ？あれ一生働かんが。で、グズグズしていきるが。女でも一緒や。一生働かん女ってないっぱいおるんや。でいつもね、グズグズいうとるんやて、そんな女っちゃあ。グズグズ。言い訳しとるんやて。「私は体が悪い」や「私は頭が腦みそがない」や「子供が忙しい」や「旦那が・・・」いうて永遠に仕事せん女。これね、グズグズいうて一生仕事せん。ね？だからグズな女ってのはすごい。そういうもんを集めて金にすると一番儲かる。

メンバー：

補助金がついたりしますよね。

北野会長：

一番着くのがそこや、補助金の。いや、派遣会社作るんでっていうのでええんやて。いや、自分の駒を、貸し出しとるん。うち派遣じゃないよゆうたら、相手どうしようもないんやから・・・これからは。マイナンバーが必要やからどうしようもないが。それを、やっぱだから駒を持っとれば仕入れはタダやろ？仕入れはタダって売りだけあったらお前大変なもんやろ？ここがこれからのAIや。人工知能も一緒や。

真田孔明：

ん？派遣じゃない。で登録だけさせて、で社員として送って仲介手数料もらうんですか。

北野会長：

そりゃそうやろがいね。いやいやだから、番号をパソコンに入れとけば孔明のところに送ったと。お前経費やるがいよ。どう？姉さん。1500万でも孔明のところから、お前1000万派遣社員にゼニ払ってってみいよ。1500万の収益が500万になるんやから。これあっちゅう間に減額されるがね。これがマイナンバーのいいところやと。と、政治家から僕は聞いたから一応皆さんに発表した。でも、悪用はダメやよ。それ今孔明さんに言うたような悪用はダメやよ。あとは個々の自由やから。

真田孔明：

え？今の理解できました？ちょっと今脳がまた働かなくなって（笑）新しすぎて。

北野会長：

いやいや、孔明の場合は大体6ヶ月かかる（笑）

真田孔明：

（笑）

北野会長：

で、6ヶ月経つとわかったと。

サツ切尔：

これわかりました？これ財門が理解できないとダメだね。

メンバー：

私も理解できなかったんですが、ちょっと飛行機が早くもどらなくてはならなく・・・

北野会長：

おお、帰ってくれよ。

サツ切尔：

儲かってるんだからゆっくり来てくださいよ。

メンバー：

そうですね。次はゆっくり。今日だけは家族の関係で。

北野会長：

本当は今日は待っとる女がいるから（笑）

真田孔明：

銀座で（笑）

メンバー：

崩壊しないように・・・

北野会長：

わかったよ。ほなまたね。どうもどうも。

メンバー：

はい、またよろしく願いいたします。

北野会長：

人間てのはね、みんなこうなるんやて。いつ自分がモテたかわからんのやけど、また女にたぶらかされて闇の世界に入ってくが。んじゃね。またね。

メンバー：

失礼します。

メンバー：

お疲れ様です。

サッチェル：

あ、カバンがかわりましたね！

メンバー：

いや、カバン一緒です。

北野会長：

あれ一万円札いっぱい入っとかもしれんよ（笑）

メンバー：

ズボンしか自分に買ってないです（笑）

サッチェル：

いいねえー600万も入ってかわってないって最高ですよ。

真田孔明：

最高ですね。

北野会長：

あれはあれが当たり前だと思っとるから。いや、金ってのは人間を変えていくんやて。金ほどね人の気持ちを揺るがすのはねえ・・・本当に。人の心が一番金で揺らいでる。こっとホワイト。こっちブラック。でもデータベースはいつもずれとる。いや、金はただの紙。今じゃあね、いつも言っとるけどプラスチックが金やから。（店員に）お嬢さーん、時間になったの？お愛想のじかんになったの？

真田孔明：

あと30分ですね。

北野会長：

なんかお前上ばっか見とるから。先のお愛想しとこうかな。やっぱそこらへんでないかなと思うんやけど。まあいいや。真面目な話。やっぱ継続は力なりで、長い間さ、いろんな知らんことをみんなあるんやて。じじいになって全部知っとる人が誰もおらん。ま、せいぜいおれが一番歳いっとるから今は一番知っとる。海外にも拠点持っとるし。会社も時計回りぐらいは持っとるから。ただおれが死ぬような時期になってみんなが浮き上がとったらまあいいグループでないかな？その時に本当に孔明のナビゲータ「北のセオリー」が・・・でもね金だけはね、稼ぐよりも借りた方がはええんやから、いやいや本当に。稼ぐ・・・稼いだ利率と払う利率が払うのがこんだけで、稼ぐのがこんだけやったら差額はみんないただきやから。やっぱいそういうような考え方を持って労働ゆっくり考えた方が。AirBnBもさっきいっとったけど、よく考えてみたら儲かるようになったと。ちょっと発想を変えると。あんたもそうやよ？〇〇が実家やったかな？

メンバー：

はい。そうです。

真田孔明：

おー。

北野会長：

いや、今酒飲んできたら。〇〇で人を集めてもいいよって。今の生活してる場面で人を集めてって。集めたもんが一番きつついんやて。金もあつめたもんがきっちいんやけど、人も集めた方がきっちいんやて。

真田孔明：

集める・・・

サッチェル：

補助金もらう。で、マイナンバーでひも・・・社員だから。補助金もらう。だけど貸し出す。その女性たちを。

北野会長：

いやいや。AirBnBと一緒になんやちゃ。いや、彼女はAirBnBやから自分の部屋で仕事してました。こう言えばなんの問題もないんやから。会社の従業員なんやて。ね？彼女を自分の家で仕事するんやて。

サッチェル：

あ、別の会社の仕事を。

北野会長：

も、一緒。自分の会社の仕事を一緒にしとったいえばほって同じやろ。

サッチェル：

でそれを会社の中でやらなくてもいいってことですね。

北野会長：

当たり前の中やろがいね。いやおれだからつい何日か前に孔明さんと会ったフロッピーディスクにこう絵書いてさ、CDロムに何も入ってないんやて・・・何もねえ。いくら追求しても永遠にばれん。なんでかいうたら何も入ってないから。何も入ってない・・・（店員が来て）おう、アニョハセヨ。今日はアメックスで。とりあえず。このコーヒー美味しかったわ。

店員：

ありがとうございます。

北野会長：

もういっぱいとはまでは言わんけども。次は結婚を前提に。

メンバー一同：

（笑）

店員：

こちら領収証は・・・

北野会長：

あー上様でも下様でも。下克上やから。こういう具合に考えとくと結構いい世界があるんでないかなあっていうのを昨日言った。これ見ると最後はね、浮き輪つながるとるからあんまりドボンせんもんはあんまり出てこんな気がするんやだから綱があればね。毎月やっとならば、まあ3ヶ月に1回でも刺激があるやろ？たまに乳も張るやろ？生理の前は。同じなんやて。やっぱり刺激っちゃ大事なもんや。やっぱだからそういうところを大事にしたほうが、銭さえ儲けて持っとならばさ、3%の定期預金でも増えていくんがやから。金ってのはそんなもんや。あとは大事にしとくことや。嫁はんと金は大事にしとかれ。嫁はんも金も裏切らん。でも愛情と信用は裏切るからね。信用ってのも裏切りの始まりやからね。信用を作るために10年かかる。失うときは1日で失う。これが暴落や。

真田孔明：

株と一緒になんですね。

北野会長：

そう。すごいね。6ヶ月かかる人が瞬時に分かる（笑）

メンバー一同：

（笑）

北野会長：

今怖かったね（笑）「株と一緒にですか？」って。孔明だけは絶対6ヶ月はかかる。二汽車な男やから。今なんか瞬時にいうたね。きっと悪い女に騙された経験があるんでないか？いや、本当そういうこと。やっぱ和をもって企業努力すれば成功するがやて。65年のセオリーがさ、3回聞いてわかるいう人は天才やから。いや、そんなもんなんやて。人間はやっぱ聞いても聞いてもはっきりわからん。いつか無料体験コースで体験したときに「あ、こんなことやったがかな」と思うことがあるがやてね。そうでしょ。

真田孔明：

確かに株も塩付いてみないと薄切り薄切りの意味がわからなかったですもんね。なんで薄切りじゃなくてちょっとこれぐらい抜いちゃってもいいんじゃないかってね。

北野会長：

いやいや、あれだけ絶好調で肩回ったたらT一本でおれは勝てるって。あっこの回した瞬間に負けとるということが・・・

真田孔明：

最初Tには一切手え出さなかったんですけど、途中ちょっとやってみたら魅力的なんですよ。この動きは。おてんばで。ぴょんぴょんぴょんって跳ねてくれるんで。

北野会長：

いや、おてんばの女に手をつけると大体塩漬けになって永遠に終わっていく。

真田孔明：

やばいね。その方程式にハマっちゃってるんだろうね。

北野会長：

人間はね本当、調子に乗ったときは女もきとるし金も来るが。そこが一番頂上やから危険なんやて。あとはもうまっすぐ落ちるんやから。ばーんいうて。もうタイムドカンやから。道も危険のやて。これをね、ここが見えるようになるとね、おれみたいに脇が堅くなる。

サッチェル：

上がったときに脇を締めてさらなる上昇を維持すると（笑）

真田孔明：

株、ぴょこっと急激に上がったの絶対暴落ですもんね。あのはね具合。

北野会長：

だから日経の新聞にこの株はすごくいい株で上がりましたねって書いてあったら次の日から暴落。いやぁおれなんかいつも皆さんにいっとるんやけどほとんどおぼえとらんのやとおもうんやて。

真田孔明：

過去最高利益ってなったら売りをかけると。

北野会長：

そういう継続ってのはなかなか難しいんやて。

真田孔明：

40%利益減速っていったら買いをちょっと入れていくとか、ちょっとずつ。

北野会長：

でも結構ねほとんどそうやよ。いやだから日経の一面にさ、悪い、この企業は悪いって出るやろ？あれは早く売っとけばいい。金持っとったら一万株。金なくても1000株。それちびちび売っとってみられ。ほとんど成功する。85%はする。いやおれのExcelの統計から見ると。こないだみたいな信者が生まれたみたいな話はおれの統計にはデータベースがなかった。だからこれは絶対嘘やなと。あれ7000円の話は絶対嘘や。あれは日本のブラックのおじさんかなんかが買い込もうと思ってああいうこうデタラメの証拠を伸ばしとる。44年間株やっとなんかあんな話出てきたのこないだ初めてやったからああこれは・・・てんぷらの話や。中身がないてんぷらやから。いやいやだからそういうことがわかるようになってほしいなと思うんやて。みんな65になると、おれの話ずっと聞いとるとみんななるんやけど、やっぱ若いうちに一山掴むと全然生活と考え方変わる。2〜30億ガバツと取ってしまえば別にいい。焦ることもなく。まァユニクロの服着て、海外でも行ってさ・・・やっぱ金掴んだら安い国で生活するのが一番いい。あとは焦らんでも、低金利で生活できるんやて。そういう国に金持っていくと金利が高いに決まっとるんやから・・・そんなやよ。低価格の国ってのは金利が高いや。だから彼みたいにフィリピンのビザとったいう・・・

メンバー：

とりました。

北野会長：

あ、本当。彼はだからはしけんや。こんなふうには知恵コブラやから。知恵がコブラ回っとるんや。だからどういの？フィリピンのビザとって、まァマレーシアでもはるかにまだ安いんやて。だからシンガポールからみたらフィリピンなんてまァ5分の1から10分の1の国みたいなもんやて。いやいやこういうことがわかっとるということがいいことや。だからこれからはやっぱおれと一緒にやっぱミャンマーの株を買い占めに行ったほうがいい。あとはもう少し体を強くして、無駄遣いをしないようにする。「ムリムダムラ」いうてこの3つどっかでひっかかればもう終わり。お愛想したけどかえってかんなんらん時間になった？

真田孔明：

いや、あと22分あります。

北野会長：

いいねー。

サッチェル：

ここいいね。長くてね。

真田孔明：

ちょっと長い飲み放題時間も。だからよほどこないってことですよね。

北野会長：

これは採算取れんやろうね。

真田孔明：

上にホテルあるのになんで誰もこないんですかね。

北野会長：

ここの料金と合わんのじゃないの。

メンバー：

あの一階にもなんかありましたよね。

真田孔明：

あるんですか。一階に。ここじゃないですか？レストラン。あ、知らないですね。

北野会長：

一階と受付とあれやろ？

真田孔明：

なかったような気がしますね。

サッチェル：

まだ探検してないんで。

真田孔明：

ここのホテル結構高くないですか？ここらへんでは。

北野会長：

そうそう。たけえんやて。いやおれもだから今、最近うちの会社合同して持っとる部屋へ泊ったったら、三井ガーデンホテルよりも、なんやったけ。こないだ泊ったあっこよりも広いんやて。なんで株主がおれやのに、こないだ初めて行ったんや。昨日。よく見たらホテルよりも広いし、結構設備もええんやて。確かね、おれの感じではね、築地行ってから買ったが、築地売った金を誰かがね、ごまかしてあれを賃貸で借りとるか、そこまでは・・・

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

いやいや、うちの婿はん達はね二人が婿やから。結構知恵コブラみたいなのこあんだかいね・・・
いや本当に。儲かったらね、もう金隠して知らん顔しとる。で、儲からんだら「パパ、パパ」
いうてくる。

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

いつからお前はパーになったかなっていうぐらい。「パ」。ピーエーピーエーが続く。頭セン
チンピンみたいなもんでさ、なんか「パパ、パパ」いうようになると、損したらパパ、パパと。
得したらあっちむいてほい。いや、あんたとは話したくないみたいな。

<事務局カット>

サツチエル：

イメージとしてはだから、人を集めたら・・・

メンバー：

それは社員として？

メンバー：

マイナンバーもらうんだから。

サツチエル：

社員にすると補助金ができるんですよね。女性の場合って。一人当たりいくらって出るんで。でっ
そこですまずキャッシュ化できるんですよね。仕事ないんですよね。だから貸し出せばいいじゃな
いですか。社員と。自分が社員で補助金もらうけど、仕事ないからそれは外の会社に貸し出し
てればいい、社員として、そうそう。でそしたら、ピンハネ工業できるでしょ？

北野会長：

NPKいうんや。日本ピンハネ工業。あとはね、時間。時間差攻撃。バレーでやっと思ったやん。
前の人が打つのかなと思ったら後の人がバンと打つ。時間差攻撃で金を・・・女は一番やりや
すい。女はね、例えば子供は保育園いっとったら10時から3時ごろまでは空いとるんやて。そ
こで時間差攻撃をかける。ここでね3時以降も空いとる女もまたおる。そういう具合に駒の扱
い方みたいなもんや。10時の15時の女もおるし、15時以降から18時までぐらいのそれをこう、
適切にポイントにはめてけば、まあ日本ピンハネ工業は簡単や。

サッチェル：

ただ、どうしたらいいかわかんないけど・・・

北野会長：

いやいやだから、これね今聞いてもまだ最初の一言やからわからんと思うんやけどもこれずっとまた話を聞くとね、簡単にまた理解できる。

真田孔明：

会長はそのビジネス始められるんですか？派遣業みたいな。

北野会長：

いやいや、ずっと派遣業もやってるよ。介護とかさ、訪問介護とかさやってる。ああいうの痴呆相手やから、10分いっても1時間。1時間ね4,150円。で、どういうの。アルバイトによって1100,1200,1300円。親戚4件あればうちの会社は回ってくがやから。いやおじいちゃんおばあちゃんっちゃ年寄りもおるやろ？そこを訪問介護にいくがやて。で、おばあちゃんいうてコーヒー飲んどっても4150円渡る・・・会社は。本人は1500円渡る。

真田孔明：

ピンハネ工業

北野会長：

もしもし？引き算やちだから。これを引き算っていうがやて。足し算とか割り算とかルートとかいらないの。引き算だけでできれば。人を使うってのは引き算やから。会社をさ、儲けた以上にお前給料払ったたら、お前会社すぐ倒産するやろ。だからサッチェルが稼いだ金を、これだけ稼いでお前に給料こんだけやると。あとは会社の儲けや。だから会社ってのは儲かる。これ日本ピンハネ工業。ピンハネしとる会社が一番強い。金儲かったらだからいろんな会社をいっぱい作っていくことが一番儲かる。飛ばしができるから。そういうことできないやつはもう一生金と税金に追いまわれる。ま、おれみたいにジョホールバルまで逃げたりハワイまで逃げたり。悪いことはいっぱい考えとる。○○やから大丈夫やけど。なんでおれよりも先にフィリピンに逃げとるんやから。これ結構あやふやな男やよ。真実をいえばやよ。この場合は知能指数が高いから。元は学校の先生やから。教育者みたいなもんなのよ。教育者ほど悪いことするやつはおらん。弁護士と教育者とかさ、ああいう人は大体一番悪いことする。まだから一番日本で悪をやっとるかいうたら弁護士や。弁護士はもう仕事ねえんやから。新幹線乗ってはがらない。弁護士ってのは。だから今度はローカル線に乗ってさ、どこどこって不良債権の取り立て、全部やとる。

サッチェル：

あそうですか。

北野会長：

うん。高利貸しのああいうの全部やっとなる。もうほとんど弁護士や。不良債権処理も新宿の44階のうちのビルみたいなこと言うところけど、あれね、回収したらあの会社なくなる。あれ全部有限会社。あれに株式会社でねえんやから。おい、東京・・・じゃなかった、アメリカ！アメリカはやっぱり不良債権会社ってのはあるんやろ？

メンバー：

え？ごめんなさい。

北野会長：

不良債権処理。・・・なんの案件が一番やってるの？

メンバー：

一番やってるのはライセンスですね。

北野会長：

あ、ライセンス？特許関係か。

メンバー：

ハイ。

北野会長：

あー。結構ね、特許ってのは一番儲かる。あれ因縁の付け合いやからね。いやいや、彼はなんか因縁つけやすいタイプやないか。クールやもんね、一番。

メンバー：

特許は次から次へと出てくるんで・・・なくなる。

北野会長：

そうそう。おれが友達も、どっか東京かそこらでやっとなるけどやっぱり特許侵害っていうのはね、やっぱり一番儲かるんやと。勝てばえらい銭になっからね。

真田孔明：

こないだもジェネリックが特許侵害でってなんかありましたよね。

北野会長：

いやあれもだから弁護士の世界なんやて。だから弁護士ってのは大きな訴訟で勝てば、おれが友達の弁護士もやっとな、特許侵害を。あれはね、勝てばものすごい銭が入ってくる。勝てばやよ。負けても頼まれた昨日から銭とっとるやつやから。でも勝ったらでかいよ。だから薬の世界ってのはでかいんやて。特に一番でかい。あっくらへんがやっぱ、株価が30、40円いからのやから。〇〇も4〜50円やったやろ？あれだってやっぱいらん銭、いらん銭を売ってるところにはいいんや。株価が安いから。でも株価が安くて、資本金の多い会社はね、所詮は配当金をだすんやから。わかる？粉飾決算で配当金を出すか・・決まっとるん。人間の手口やから。だから綺麗なドレスを着たがるのが女や。だから同じさ。人間の心理なんて絶対変わらんのやから。やっぱ銭のないやつほど銭を見せたがる。

真田孔明：

あーネット起業家のように・・・

北野会長：

そうそう。秒速一億とかさ。いやいや言うようになるの。

真田孔明：

で、本物の金に転換していくみたいな（笑）

北野会長：

そうそう。だから彼のやっぱすごかったところは六本木ヒルズを飛ばしたところがすごい。あれはだから会社飛んどらんがよ。税金を納められんだだけなんやから。彼のやっぱすごいところはあっこにあるんやが。彼は飛んだわけやねえ、会社は。税金を納められないからって、一年辛抱したんや。たこ焼き屋かなんか。ラーメン屋かなんか。だからあの時にあれは全部シンガポールに金うつしとる。あんたの友達やろ？あれ。

メンバー：

いや、知り合いではないです。

北野会長：

おれは思ってるんやけど。おれは善人やから、一応ジェントルメンと言われる身やから、「金は返さない」とかさ。でもジェントルマンやから金利はいつも返しとる。これぐらい寛大な気持ちを持っとると「嫌！」とかさ、こう言えるようになる。「嫌！」って「No」やから。NOと言える日本人はなかなか少ないんやから。俺の場合はNOよ。

真田孔明：

確かに飲み屋でも、「NO!」ってスパッとこの・・・

サツチェル：

手仕舞いですよね（笑）

北野会長：

これはね、できないと貧乏するんやて。

真田孔明：

確かにお金持ってる人であそこで「NO!」を言える人は逆にいなかったりするんですよね。多少持ってるっていう人と飲みに行ったりする時に。

北野会長：

いや、俺の場合はNOから先行しとるタイプやから。これを軽く言えるっていうのがものすごい難しいんや。いやだからNOが言える人間になるってことが一番難しい。ノー。エヌ・オーやから簡単。でもね、ものすごい難しいことや。昨日も聞いたと思うけども、だからあそこでパンパンと切るがやて。3,000円のドリンクと2,000円のドリンク。じゃあお前2,000円でいいじゃないかと。で、ママ来てお前そこボトル5万円か？いうて、「いや、うち7万円」って。あっこであれ付き合いますとカッコはいいよ。その代わり貧乏の始まりや。あういうシャチみたいな女と付き合うと絶対に食われる。

サツチェル：

シャチ（笑）

真田孔明：

超吸い取り系の方でしたね（笑）

北野会長：

いやいやそんなもんなんや。あのね、悪い女ってのはね、よく見えるが。よく覚えといて。悪い女ってのは魅力的なんやから。ね？悪女の深情け。ああいう悪い女ってのは情がね、最初に情をみせるがやから。これが怖いんや。「あなたを愛してるよ」とか。あやふやなこと言うんやから。そのあやふやにはまったらもう終わり。すぐイスタンブールや。わかったやろ？こうみんながイスタンブールってわかってるっていうことは点がそこにあるということや。いや、それさえ注意しておけばあんまし・・・大丈夫や。それだけ注意しとけば結構飛ばん。だからこの会が今年も続いたってのが、孔明さんが暴落を「自分は何もしなかった」というあのサイトを書いた日に誰も・・・だからみんな塩漬けにはなっとるんや。昨日も言ったんやけど今度からどっか福島あたりで魚を取って、塩漬けにしたほうが儲かるんじゃないかなあと。

真田孔明：

この塩漬けを塩漬けで解消しようと（笑）

北野会長：

一緒やから（笑）で、案外会社できるんじゃないかなって思うこのおれの発想。福島復興のために、いや真田孔明の塩漬けでいきましょうって。これあたりやると、結構いいよ。それをネットで販売するとかさ、ね？みんな友達や親戚いるんやから、結構そうしたらなんか復興の真田孔明になったりさ、結構わからんもんやて。いやだからあの一つのネットがやるっていうのよりも友達の力を結集すると、結構全然違った発想ができるんやて。一人ではやっぱ真田孔明でさ、福島のなんとかっていう魚買ってくれとかさ。築地で今日・・・お前の好きななんていうたっけ？貝・・・

真田孔明：

貝・・・えーと、あ、オイスター。牡蠣。

北野会長：

オイスター。あれね、一個400円ぐらいなんやて、一個。で売っとるんやて。あああれにレモンをチューって絞って中国人がまたいっぱい食べとるんやて。

真田孔明：

精力剤みたいなものですからね。

北野会長：

いやいやだからぼったくり工業やてあれね。あとはほ、サクラ。サクラわかる？サクラ咲くやる？知ってる？漢字。漢字知っとる？サクラ。サクラっていう漢字知ってる？てんてんてんけ？・・・・そうそう、いや、てんてんおんなじゃなくて。サクラっていうのは木へんに、高に貝二つ書くんやて。下に女書いてあるけど、これ昔は「二階の女が気にかかる」こうやって書いたのがサクラなんや。だから〇〇広げたらピンクやったからサクラはピンクやなっていうこと。文字に変わったというぐらいこう由来があるがやて。

真田孔明：

貝が・・・

北野会長：

そうそう。貝が二つ。

真田孔明：

あれ逆さになってるんですかね？

北野会長：

いやだから二階の女が気にかかるってこう読んだ。

真田孔明：

逆さになって開いたらピンクだったと。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

それが漢字になるって・・・ギャグの世界ですね（笑）

北野会長：

いやいや全部一緒やよ。だから最初のこう書いとったやろ？人が亡ぶっちゃさ、心が亡んでいくんがやから。貧しくなっていくが。だから忙しい忙しいっていうのは心が亡んでいっとるんやて。だから心が亡ぶから忙しいんやて。ね？俺みたいにほ、銀行から借金して返す気もないから、全く感情外やろ？こういう人って結構健康にいい。で、全然気にせんがやから。だから貝も一緒やて。二階の女が気にかかるって、こうなると、どういの？株よりも仕事よりも女のことを余計考えるようになったらもう終わり。ボケの始まりやから。いや本当そうなんや。ただそれだけのことを気い付かん。男はとくにそうなんや。あのね、ダバダバの女よりも締まりのいい女と会うとあれがブスでもいい女に見えるようになるがやから。だから昨日も孔明にいうた。連れて歩くは女。寝る女。ホラ吹く女は違うんや。だから最低女は3人持てば結構なんでも解消できる。〇〇のいい女はやっぱ胴が長くて足が短い女。胴長短足床上手。江戸の昔から決まったセオリーがあるんがやから。

真田孔明：

内股みたいな（笑）

北野会長：

そうそう。もう決まっちゃしまとる。胴長短足床上手。江戸時代始まる先からこう平安の昔から足の短い女は床が上手やった。だから足が短くても通用したわけよ。ね？十二単しとっても足の短いおんなが良かったわけよ。足の短い女は企業努力した・・・わかった？このオチがわかった？企業努力したっていうのがオチなんやから。さあ今日も・・・何時になった？

真田孔明：

47分です。

北野会長：

残りけ？

真田孔明：

17分オーバーしました。

北野会長：

オーバーけ？ラブイズオーバーやから。いやいやおれは薬屋やからいうわけじゃないけどもね、人間てのは美と健康しか求めんがね。いや、美と健康と金求めるんやけど、金持てばね、金持ったら次求めるのは美と健康に決まっとる。金持てば、美と健康。だから薬ってのは永遠のもんなやて。だから女は顔を叩いたり、撫でたりしとるやろ？あれはお前美と健康のためやっとなるんやぞ？わかる？叩いたり、塗ったりするやん？あれは美のためにやっとなるんや。あれ以上に癌になったらもっと薬飲むんやて。ほって美と健康を追い続けるから。これは北のセオリーにもそういうこと書いてってください・・・いや本当。人間の真実ってのはそこになるんやて。だからいつも初めて会うた時は「命があったら～♪死にはせぬ～♪」命がある限りの話やから。このオチがなかったらもう終わり。もうここでドボンで死んだらもう終わり。北のセオリーもね南のセオリーも全然ねえんやから。死んだら終わり。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

タッチになってしまったら終わりなんやから。タッチわかる？タッチ。孔明全然わかっとらんの。

メンバー：

あだち充です。

北野会長：

孔明はタッチいうてもはっきり・・・あれは南の世界やから。

真田孔明：

ああ南ちゃん（笑）

北野会長：

まあなんか本当に孔明は二汽車な男みたいやね。このね、株の話も6ヶ月かかるんやから。孔明を説得せんとみんなを説得できんかと最近わかっとなるんやて。だからまず孔明から説得せんといかんかと。あとはだからやっぱ継続せんと、二汽車な男やから。普通は電車5分ぐらいでくる。東京の電車は。孔明みたいなのは6ヶ月経っても来ん電車やから。結構時間かかるからね。ゆっくり騙して・・・あれはだから国家主席やなくて一人でも幸せになってほしい。日本を騙すとかさ、ただ幸せになればそれでええんがか。ね。あれだから中国の競争力があって一気に高まったわけよ。ね？あれが中国の発展の今の原動力や。

真田孔明：

確かに日本企業にどんどん来てもらって、工場作ってもらってノウハウを教えてズバーっですよ。

北野会長：

あれで持って帰れんのやから、日本には。誰も。だから習近平が日本が引き上げるって言うても工場は置いていけと。ところが従業員は給料渡らんとどうなる？やっぱ反乱を起こす。だから中国は必ずいつも外部から侵略なんて受けんが。内部からいつも。だから爆発してる。チベットとかあの辺で暴動おきたら中国は終わり。でもなぜか中東にはさアメリカ武器与えとる、ISに。あれ全部アメリカやよ。あのね、原始民族みたいなんが散弾銃とかあんなん作ったわけじゃねえ。あれ全部アメリカ。で、その対抗するところがまたロシアが武器売っとんやて。これで経済ってのは成り立ってる。ギブアンドテイクやから。いつもそうやよ。だからそこらへんをわかると結構みやすい。株式市場もそれと同じ風にできあがるとんや。トランプはだからうまいこというたやん。「日本のためにアメリカ人は死んでも、アメリカ人のために日本人は死なん」だから今のアメリカを守るボランティア工業の補助金を倍にしてくれ。だからトランプはうまいこというとる。だからアメリカってのは今3%の人間が97%の金持っとる。残った3%のゼニを97%の国民で分け合っとる。で、一番鮮明に見えるんがマクドナルド。孔明はなんかマクドナルドの事書いとったからええんやけど、昔はマクドナルドが一番資産が多かった。マクドナルドも今じゃもう・・・どんどん落ちるわけや。発展したものってのは必ず落ちる。だから頂上とったらもう終わり。だからそういう事を知っとれば全然違うものの見方ができる。・・・じゃあ解散しようか。お互いに新しい世界をみてね。大事やよ。どういがか。フィリピンで成功したら、みんなにもこうやったら成功するよ、と教えればいい。そういう事が一番大事。それがまあいい友達作り。孔明はだからマレーシアにおったらジョホールバルが為替が安い時に、儲かった人はやっぱジョホールバルに資産を移すべき。

真田孔明：

今あれ、競売物件とかそういうやつですよ。

北野会長：

だからなんで彼のところに訴訟の文面が来るかって言えば、彼はうまいこと言い訳を書くから仕事が舞い込んでくるわけよ。そこで成功するとみんながやっぱ集まってくる。弁護士も一緒。特に薬事法とかさ特許侵害ってのはすごい大きんや。いまのSTAP細胞も、小保方さんと・・・いや、俺が推定したら、おそらく100億ぐらいはあとで渡るんじゃないかなと思う。どう？

メンバー：

STAP細胞はあると思います。

北野会長：

いや、STAP細胞もうアメリカから特許がでたやろ？あれ結局ね、アメリカが特許持っとる。だから小保方さんはだまって言うても最低30億から100億の間で銭渡っとる。

真田孔明：

ええー！

北野会長：

そやる？犠牲になった彼は、いや小保方と一発やったからただ消されただけ。あのね、皆さん知らん？自殺した人の半分以上は他殺やから。わかった？自殺・・・いままで3万人しとったんや。自殺。1万5000人ぐらいは他殺。本当に死んだのは俺からいうと半分以下や。三分のーがせいぜい度胸あって自殺する。じゃあお前ら自殺できる？できんやろ？じゃあ他殺に決まるとるやん。お前自殺じゃなかったら他殺しかない。

サッチェル：

確かにそうですね。

真田孔明：

最近秘書が不審死とか失踪とか、あれでも普通にやってるのに誰もみんな疑問に思わないんですかね。「炭で自殺した。でも顔はぐちゃぐちゃだった」ってこれなんで普通にニュースにでてるのか意味がわからないですよ。それで自殺って書いてあったですよ。

北野会長：

いやだから自殺ほど他殺が一番多い。いや、いままでさ日本のいろんなセオリーからいうと、やっぱそれの方が誰も責任とらんでいいやろ？彼は一番大事なことを言わんと死んでいったと。だから語る人が死んでいったんやから反目せんがやて。これがやっぱ人間の真実や。いつもそうやよ。どの時代も一緒。昔から越後屋ちゃおったが。わかったやろ？昔からね、あんたたち300年前から越後屋っちゃあおったんやから。

真田孔明：

悪代官と越後屋（笑）

北野会長：

そうそう。「越後屋。お前悪い奴よのう」「お代官様」いうて、必ずこういうがやて（笑）わかった？

真田孔明：

生まれ変わりが同じことやってる（笑）

北野会長：

そうそう（笑）だから北のセオリーの中にそういう事をいうとるわけよ。だから同じことを繰り返しとるだけ。だから子孫も同じやて。先祖が生きとったから子孫がおる。孔明の分析でも

ある。孔明の凄いのは理数学的やからなんか常に数字をこうね、本当に合っとるのかなぁと思ったけど、おれもはっきりわからん。

真田孔明：

でも2倍2倍2倍にしかなんないですもんね、親って。どうやってもあれになっちゃうんですもんね。現実には。なんでこんな数字になるんだろう。

北野会長：

いや、数字ってのは正確なんやて。あの言葉ってのはごまかすことできるがね。ところが $\sqrt{3}$ はごまかすことも $\sqrt{2}$ もごまかすことはできんって昔から言われとる。

真田孔明：

でも昔の人口って、例えば日本では2000万人しかいないって話じゃないですか。ってことはそれだけ簡単に死んでたんですかね、人が。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

一瞬で。

北野会長：

いやいや、だから増えるときもどういふのかね、戦争があるとね、人口は増えるんやて、これ女がね繁殖を早めるがね。女ってのはそういう生物やから。一人の子供産んで一人戦死したら弱るやろ？でも3人作っとけば3分の1、6人作っとけば6分の1、分散の方式でくっからね、女はね。3人作って1人死んだら3分の1の確率や。30人子供を作っとけばさ、30分の1、3%こう減額するから、女ってのは結構頭がいい。

真田孔明：

それで男を分散したりするわけですね。

北野会長：

そやそや。男は種撒いとるだけやから。男は種まき、女は分散するがやて。だから割り算と掛け算はいらん経営者に。割り算も掛け算も足し算も。経営者は9から8引いたり9から5引いたり、こうあやふやなところで生きとれば一番これがきつついんや。おい。いくぞ。